

科目名	イベントプロデュース(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手イベントターのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	はじめに ～ 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義	5W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手イベントターのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義	会場設備理論(全国の会場を分析する)ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義	会場設備理論(全国の会場を分析する)ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義	会場設備理論(全国の会場を分析する)アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	コンサートBasic(1) (PA Basic(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。業界用語、機材名称、基礎体力、安全管理を完全に理解する。						
到達目標	音の流れ、音の出し方を理解し、PAスタッフとしての基本的なノウハウと応用力を身につける。 スタッフ間のコミュニケーションをとることができ、現場に必要な知識と体力を1年間で身につける。						
評価方法と基準	実技試験にて評価 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	自己紹介。職業理解を深める心構え。安全教育。機材取り扱い。マイクスタンド等の使用方法。	機材取り扱い、マイクスタンド等の使用方法について復習レポートを作成。	
2		演習	簡易セット1回目。コネクター種類把握。簡易セットの機材把握。	コネクター種類、簡易セットの機材について復習レポートを作成。	
3		演習	簡易セット2回目。簡易セット設営、撤去、チェックができるようになる。	簡易セット設営、撤去、チェックについて復習レポートを作成。	
4		演習	簡易セット3回目。EQを追加。設営、撤去、チェックができるようになる。	EQについて復習レポートを作成。	
5		演習	簡易セット4回目。EQ,マルチ追加。	マルチシステムについて復習レポートを作成。	
6		演習	簡易セット5回目。ステージモニター、エフェクター追加。学園祭イベントを考える。	モニター、エフェクターについて復習レポートを作成。	
7		演習	イベントにおけるPAシステムのプランニング。電気知識を活用する。	プランニング、電気知識について復習レポートを作成。	
8		演習	簡易セット6回目。変化に対応できる柔軟性を身につける。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。	
9		演習	簡易セット7回目。チーム力を活用し、制限の中で結果を出す。	簡易セットについて学んだことをあらためて振り返り確認しておく。	
10		演習	マルチウェイスピーカーについて。	マルチウェイスピーカーについて復習レポートを作成。	
11		演習	ステージワーク1回目。イベント、体験入学を見越した内容。	ステージワークについて復習レポートを作成。	
12		演習	明日への扉のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかりと行ない、レポートを作成。	
13		演習	明日への扉のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかりと行ない、レポートを作成。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートBasic(1) (照明Basic(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治 郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。 以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	照明基礎の習得が主。舞台用語や機材名などの基礎を知らなければ先に進めないで、この授業は必須となる。前期は比較的講義の要素がおおくなるが、現場で重要な”声を出してコミュニケーションをとる”など体や声を使う演習授業が中心になり卒業後舞台人になるための基本所作も覚えていく。						
到達目標	学校にある基本の機材の名称、使い方を覚える。光の原理と舞台基礎用語、仕込みの方法、電気計算や安全など舞台人としての基礎全般を習得する						
評価方法と基準	実技試験50%筆記試験50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義	学校にある代表的な器材の説明と仕組み、アクセサリーなどの理解する・カラーフィルターを知る	予習と復習	
2		講義	照明器具の取り扱い方法を身につける	予習と復習	
3		講義	電気基礎知識、容量計算などケーブル配線、仕様の違いを理解する①	予習と復習	
4		講義	電気基礎知識、容量計算などケーブル配線、仕様の違いを理解する② 仕込み図の見方	予習と復習	
5		講義・演習	調光卓(ARENA)の基本的な使い方を理解する	予習と復習	
6		講義・演習	調光卓(PEARL/TIGER)の基本的な使い方を理解する	予習と復習	
7		講義・演習	調光システムの基本と、ユニットの説明と灯体の点灯原理を理解する パッチについて	予習と復習	
8		講義・演習	上記復習とユニット表の作成方法を学ぶ	予習と復習	
9		講義・演習	信号からのLEDやムービングの解説、ディップスイッチ。PINのQ出し、使い方を学ぶ	予習と復習	
10		講義・演習	明かりつくり①照明データの書き方作り方、用紙作成の書き方を学ぶ	予習と復習	
11		講義	舞台機構など全般的に説明の後～照明に特化したものを説明。また舞台用語を知る	予習と復習	
12		講義・演習	パイプ回路を使つての回路とり擬似体験をする①	予習と復習	
13		講義・演習	パイプ回路を使つての回路とり擬似体験をする②	予習と復習	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートBasic(1) (ムービングBasic(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	ムービングライトの仕込みが出来る。 グランドMAでの簡単なシーンの作成、修正。 何度も触って、失敗して、機材に慣れる。						
評価方法と基準	筆記,または実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業の進め方、LS1使用方法、基本的なアクセス	レポート□
2		講義・演習	ムービングの主な機能を知る。注意事項を知る。仕込み。	レポート□
3		講義・演習	簡単なシーンの作成。卓の主な用語、機能を学ぶ。	レポート□
4		講義・演習	シーンの作成。バックアップ。	レポート□
5		講義・演習	シーケンスの扱い。タイム。	レポート□
6		講義・演習	卓の基本的なセットアップ。	レポート□
7		講義・演習	卓の基本的なセットアップ。	レポート□
8		講義・演習	小復習。	レポート□
9		講義・演習	ムービングライトの基本的なセッティング。	レポート□
10		講義・演習	チェイスの作成。修正。	レポート□
11		講義・演習	キューのリンク、ループ。	レポート□
12		講義・演習	プリセットの作成、修正、使用。	レポート□
13		講義・演習	テスト／フェーダー、ボタンの機能変更。	レポート□
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(1) (イベントスタッフワークBasic(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をする。実務歴17年。						
授業の学習 内容	進級制作でもある「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、 イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることができる。 イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することができる。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	「学園祭」「明日への扉」の概要を知り、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分けを行う。各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶をする。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。	
2		演習	「学園祭の演目」を理解する。「学園祭の昨年の資料確認する。	データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。	
3		演習	舞台監督と制作の役割・内容を学ぶ。打合せ内容の共有をする。	授業内容について復習しレポートを作成。	
4		演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶に行く。打合せ内容の共有をする。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。	
5		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。	
6		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。制作チームごとにミーティングを行い、シーパターの使い方を学ぶ。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。	
7		演習	「学園祭」の反省会、資料まとめを行う。「明日への扉」映像を見る。	イベント資料を管理し、次年度のために整理しておく。	
8		演習	「明日への扉」結団式にて主旨、目的を理解する。	結団式内容をレポートにまとめる。	
9		演習	「明日への扉」の舞台監督と制作の役割・内容説明と担当割り、スケジュール確認	資料作成。	
10		演習	「明日への扉」現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。稽古場のバミリを行う。	資料作成。	
11		演習	「明日への扉」台本読み、ト書きを学ぶ。 外部リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。	資料作成。	
12		演習	「明日への扉」の制作スタッフとして稽古に立会い、内容変更等情報共有する。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。	
13		演習	「明日への扉」の舞台監督、制作スタッフとして本番を行う。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。		
【使用教科書・教材・参考書】					
昨年の学園祭資料、明日への扉2022公演DVD、資料					

科目名	コンサートBasic(1) (舞台監督演習Basic(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督及びステージデザイナーに関する 基礎知識 についての 講義 及び 実技						
到達目標	舞台監督及びステージデザイナーに関しての 基礎知識 の 理解						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	オリエンテーション授業内容の理解	授業日及び授業時間教室の把握
2		講義・演習	舞台監督に関しての基礎知識の理解	舞台監督について調べる
3		講義・演習	舞台制作に関しての基礎知識の理解	舞台制作について調べる
4		講義・演習	舞台に関しての基礎知識の理解	舞台とは何か調べる
5		講義・演習	舞台美術に関しての基礎知識の理解	舞台美術とは何か調べる
6		講義・演習	舞台の安全性を理解	舞台の安全とは何かを調べる
7		試験・演習	中間試験	講義の内容の復習
8		講義・演習	演劇の基礎知識の理解	演劇とは何かを調べる
9		講義・演習	舞台監督としての演劇の台本分析	台本とは何かを調べる
10		講義・演習	ミュージカルの基礎知識の理解	ミュージカルとは何かを調べる
11		講義・演習	学園祭に関しての基礎知識の理解	学園祭の月日時間を調べる
12		講義・演習	学園祭に関しての基礎知識の理解	学園祭の内容を把握する
13		講義・演習	前期テスト(筆記及び実技)	前期の全ての授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(1) (照明概論(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	舞台照明に関する基礎知識を習得し、学校の機材名、役割がわかる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	レポート
2		講義・演習	作品に携わる主要メンバーとデザイナーの仕事	レポート
3		講義・演習	機材知識1 フラッドライト、スポットライトが理解できる	レポート
4		講義・演習	機材知識2 プロファイルスポット、ノンレンズスポット、バーライトが理解できる	レポート
5		講義・演習	安全知識 (ヘルメット・脚立)	レポート
6		講義・演習	機材知識3 ムービングライト、効果機が理解できる	レポート
7		講義・演習	機材知識4 電球、フィルター、ゴボ、ケーブル知識が理解できる	レポート
8		講義・演習	舞台機構が理解できる	レポート
9		講義・演習	舞台照明設備が理解できる	レポート
10		講義・演習	舞台照明設備が理解できる	レポート
11		講義・演習	舞台照明の仕事1	レポート
12		講義・演習	舞台照明の仕事2	レポート
13		講義・演習	前期テスト	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	コンサートBasic(1) (舞台制作概論(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し、演目内容を進行していく能力を身につける。 実際のイベントを題材に打合せや資料作成を行う。						
到達目標	舞台制作スタッフに必要な知識、スキルを身につけることが出来る。イベント現場で必要となる判断能力を向上させる。						
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2		講義	舞台知識①: 舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3		講義	舞台知識②: 公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4		講義	舞台知識③: 図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5		講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6		講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7		講義	舞台知識④: 各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8		講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9		講義	知識応用①: 墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10		講義	知識応用②: タツパ決めについて学ぶ。	タツパ決めについて復習レポートを作成。
11		講義	知識応用③: リハーサル進行について学ぶ。	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
13		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	撤収作業から現状復帰までを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	コンサートBasic(1) (音響技術基礎1(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音響従事实務歴20年以上						
授業の学習 内容	音声の基本的な知識を学ぶ マイクやミキサー、などの音声収録に欠かせない機材を理解する 収録時のミキシング、マイキングを実践を通して学ぶ						
到達目標	映像に欠かせない音の理解を深め、基本的な知識を身に付け、録音技術の向上を目的する						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2		講義	音声収録とは	音声収録に関しての復習レポートを作成。
3		講義	ケーブルとコネクタの種類・違いについて	ケーブルとコネクタの種類・違いについてのレポートを作成
4		講義・演習	映像業界におけるケーブルの巻き方、取り扱い方について	映像業界におけるケーブルの巻き方、取り扱い方についてのレポートを作成
5		講義	マイクの種類について①	次回にむけた復習
6		講義	マイクの種類について②	マイクの種類についての全2回分のレポート作成
7		講義・演習	マイク的使用方法について①	次回にむけた復習
8		講義・演習	マイク的使用方法について②	マイク的使用方法についての全2回分のレポート作成
9		講義・演習	ミキサーの取り扱いについて	ミキサーの取り扱いについてのレポート作成
10		講義・演習	カメラの音声設定について①	次回にむけた復習
11		講義・演習	カメラの音声設定について②	カメラの音声設定についての全2回分のレポート作成
12		講義・演習	マイクミキシングについて①	次回にむけた復習
13		講義・演習	マイクミキシングについて②	マイキングについての全2回分のレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(1) (ライティングデザイン基礎(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴木 昌 広
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスの照明家としてコンサートやイベントで活動。実務歴25年以上						
授業の学習 内容	映像制作の向上を目的とし、制作する作品において理想の撮影ができるよう照明への理解を深める						
到達目標	映像制作を行う上でのライティングデザインを理解し、基礎知識を習得						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2		講義・演習	映像制作における照明の役割を学ぶ①	授業内容についての復習レポートを作成。
3		講義・演習	映像制作における照明の役割を学ぶ②	授業内容についての復習レポートを作成。
4		講義・演習	映像制作における照明の役割を学ぶ③	全3回の授業内容についての復習レポートを作成。
5		講義・演習	色の基本知識を学ぶ①	授業内容についての復習レポートを作成。
6		講義・演習	色の基本知識を学ぶ②	授業内容についての復習レポートを作成。
7		講義・演習	色の基本知識を学ぶ③	全3回の授業内容についての復習レポートを作成。
8		講義・演習	照明機材を学ぶ①	授業内容についての復習レポートを作成。
9		講義・演習	照明機材を学ぶ②	全2回の授業内容についての復習レポートを作成。
10		演習	物品に対する照明の置き位置(ポジション)を学ぶ①	実際に行った実習を元にレポートにまとめて提出
11		演習	人物に対する照明の置き位置(ポジション)を学ぶ②	実際に行った実習を元にレポートにまとめて提出
12		演習	映像照明応用①	授業内容についての復習レポートを作成。
13		演習	映像照明応用②	授業内容についての復習レポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞				

科目名	コンサートBasic(2) (PA Basic(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	PAエンジニアとしての基本を身につける。前期に引き続き、基礎的な技術を学ぶのは勿論のこと、授業内でもグループ作業の割合が増してゆくため、リーダーシップを身につけて自分で考える能力を養う。他者の意見を取り入れ、より良い作業効率を見つけて出してゆく。						
到達目標	コミュニケーション能力をさらに高めてゆく。アナログ機器だけでなくデジタル機器にも対応できる知識を身につけることが出来る。						
評価方法と基準	実技試験にて評価 100%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1		演習	信号分岐。ハウスミキサー、モニターミキサーの頭分けを理解する。EFXやダイナミクス系を設営できるようにする。	信号分岐、EFXやダイナミクス系の設営について復習レポートを作成。	
2		演習	設営実習①ハウス、モニター、ステージそれぞれに分かれて設営を学習する。	ハウス、モニター、ステージの設営について復習レポートを作成。	
3		演習	設営実習②スピーカーチューニング(技法)について学習する。	スピーカーチューニング(技法)について復習レポートを作成。	
4		演習	設営実習③作業の効率化を考えながら、少人数で設営できるようにする。	教室を使って少人数で設営できるように復習しておく。	
5		演習	デジタル卓を理解する①LS-9,X-32などでデジタル卓の設定方法を理解する。	デジタル卓を理解するLS-9,X-32などでデジタル卓の設定方法について復習レポートを作成。	
6		演習	アメリカのPAエンジニアの考え方を学び、日本との違いを知る。	授業内容について復習レポートを作成する。	
7		演習	デジタル卓を理解する②	デジタル卓について復習レポートを作成。	
8		演習	デジタル卓を理解する③	デジタル卓について復習レポートを作成。	
9		演習	ライブ実習① インストバンドのサウンドチェックを学習する	インストバンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。	
10		演習	ライブ実習② ヴォーカル&バンドのサウンドチェックを学習する。	ヴォーカル&バンドのサウンドチェックについて復習レポートを作成。	
11		演習	ライブ本番実習① ボーカル&バンドのライブ本番を経験する。	ボーカル&バンドのライブ本番について復習レポートを作成。	
12		演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、仕込み、リハーサルをする。	イベントに向けて打合せ、リハーサル立会いなど準備をしっかりと行ない、レポートを作成。	
13		演習	卒業進級制作展のスタッフとして参加し、本番、撤収作業をする。	イベントの本番、バラシなどをしっかりと行ない、レポートを作成。	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートBasic(2) (照明Basic(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。 以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	本格的に演習授業中心の内容で、仕込みバラシ、シュート明かり作りなど基礎となる現場の流れや現場に入る前の準備符 割りデータ作りなどより実践に近いことを学び二年目に応用力を持てる人材になれる人間力を覚える。						
到達目標	前期の知識を応用し、次のステップへ。シュートの技術や効率のいい方法を考えたり照明プランニングする為の基礎知識を 学び二年に上がる為の舞台人基礎力マスターをする。						
評価方法と基準	実技試験50%筆記試験50%						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	器材、ケーブル等のメンテナンスや機材の仕組みや工具の使い方を理解する	予習と復習	
2		講義・演習	パイプ回路を使つての回路とり擬似体験をする	予習と復習	
3		講義・演習	物の見え方、効果など光の基本を学ぶ	予習と復習	
4		講義・演習	フォーカス①の仕方を学ぶ	予習と復習	
5		講義・演習	フォーカス②の考え方を学ぶ	予習と復習	
6		講義・演習	シーン①意味や考え方テクニックを学ぶ	予習と復習	
7		講義・演習	シーン②仕込み図の考え方と方法論を学ぶ	予習と復習	
8		講義・演習	舞台照明効果の理解する	予習と復習	
9		演習	明かり作り②データ用紙作成する	音源とデータ用紙	
10		演習	明かり作り③前週のデータを実際に照明してみる	音源とデータ用紙	
11		演習	イベントに向けてスタジオの仕込み作業をする	予習と復習	
12		講義・演習	ピンスポットの構造や操作方法を理解し、オペレートを経験する	予習と復習	
13		演習	イベントの照明プランとプログラム作業をする①	音源とデータ用紙	
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出	
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。		
【使用教科書・教材・参考書】					

科目名	コンサートBasic(2) (ムービングBasic(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。						
到達目標	パッチの変更ができる。 様々な卓で、簡単なムービングの操作ができる。						
評価方法と基準	筆記、または実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	パッチ基本。	レポート□
2		講義・演習	エフェクト基本。	レポート□
3		講義・演習	エフェクト続き。	レポート□
4		講義・演習	仕込みに関して。	レポート□
5		講義・演習	パール、アリーナでの操作。	レポート□
6		講義・演習	GMA1,2onPC操作。	レポート□
7		講義・演習	GrandMA3Dについて。	レポート□
8		講義・演習	小復習。	レポート□
9		講義・演習	VIEW作成。	レポート□
10		講義・演習	シーケンスの設定関連。	レポート□
11		講義・演習	マトリックス、クイッキーを詳しく。	レポート□
12		講義・演習	明かり作り練習。	レポート□
13		講義・演習	テスト／明かり作り練習。	レポート□
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(2) (イベントスタッフワークBasic(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	大島直子
	学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)		
教員の略歴	イベントやコンサートの制作・進行、事務局、発表会、企業物などオールジャンルの仕事をする。実務歴17年。						
授業の学習 内容	2年生は卒業制作であり、「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」のイベントにおける制作業務を学び、報告書の作成を学ぶ。1年間の集大成のイベントを各学科・コースや合同日(葛西校)を連携しながら、進行及び制作業務を行う。						
到達目標	各学科・コースの枠を超えて、イベントを新規で作り上げていく為のコミュニケーション能力を身につけることができる。イベント本番の役割をシミュレーションし、事前準備の大切さや見やすい資料作成の基本を習得することができる。						
評価方法と基準	実技試験(イベントでの制作業務と作成された報告書を評価する。) 50% 資料作成のレポート提出を評価 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の概要説明、舞台・制作・運営のチーム分け、演目担当分け、各担当ごとに連絡先交換と各グループで挨拶を行う。	今後1つのチームとして作業するため、授業以外でもコミュニケーションをとる意識を持つ。
2		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の演目について理解する。	授業内容について復習しレポートを作成。
3		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認し、内容を把握する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
4		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の昨年の映像確認と舞台監督と制作の役割・内容を理解する。	映像データを管理し、いつでも見れる見せられる環境を整えておく。
5		演習	各演目担当チームごとに、担当教務に挨拶に行く。	イベント資料を管理し、チームで共有する環境を整えておく。
6		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	申し送り事項について復習しレポートを作成。
7		演習	各演目の現状確認(報告会)、昨年の反省点の確認・改善点を共有する。	※舞台・運営と合同ミーティング 情報共有をする。
8		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する 制作チームごとにミーティングとシーバーの使い方を学ぶ。※資料の締め切り確認 ※葛西制作と顔合わせ	授業内容について復習しておく。
9		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
10		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
11		演習	各演目の現状確認(報告会)、必要資料を作成する。リハーサルに向けての資料作り・控室おさえを行う。 ※資料の締め切り確認	資料作成。
12		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。
13		演習	「weareTSM渋谷!DA TOKYO!」の制作スタッフとしてイベントに取り組む。	打合せ、資料等を完成させ、イベントの成功を目指す準備をしっかりと行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年の学園祭資料、明日への扉2022公演DVD、資料				

科目名	コンサートBasic(2) (舞台監督演習Basic(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督及びステージデザイナーに関する 基礎知識 についての 講義 及び 実技						
到達目標	舞台監督及びステージデザイナーに関しての 基礎知識 の 理解						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	演劇に関する応用知識の理解	前期演劇の授業の復習
2		講義・演習	舞台機構を理解する	舞台機構の復習
3		講義・演習	舞台制作に関する応用力の取得	前期舞台制作の授業の復習
4		講義・演習	舞台監督に関する応用力の取得	前期舞台監督の授業の復習
5		講義・演習	舞台制作の作成する資料について重要性	前期舞台制作の授業の復習
6		講義・演習	舞台美術に関する応用力の取得	前期舞台美術の授業の復習
7		講義・演習	中間試験	講義の内容の復習
8		講義・演習	楽器に関する復習	楽器知識の授業の復習
9		講義・演習	ステージデザインの応用力の取得	ステージデザインとは何か調べる
10		講義・演習	後期テスト(筆記及び実技)	後期の全ての授業内容の復習
11		講義・演習	進級展についての理解	進級展とは何か調べる
12		講義・演習	進級展の作成資料の理解	進級展の内容の把握
13		講義・演習	入学式に関する基礎知識の理解	入学式の内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(2) (照明概論(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	林 之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	学校機材の準備ができるよう仕込み図の理解と機材の扱い方がわかる						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	仮設現場1	レポート
2		講義・演習	仮設現場2	レポート
3		講義・演習	照明をコントロールする仕組み1	レポート
4		講義・演習	照明をコントロールする仕組み2	レポート
5		講義・演習	照明をコントロールする仕組み3	レポート
6		講義・演習	仕込み図を読む/仕込み図から情報を読み取る	レポート
7		講義・演習	仕込み図を作ろう/基本仕込みが書ける	レポート
8		講義・演習	イベント実践(明日への扉)を通して舞台照明を学ぶ	レポート
9		講義・演習	作品鑑賞 ミュージカル作品	レポート
10		講義・演習	後期まとめテスト	レポート
11		講義・演習	照明実務1 公演準備(持ち物:上演台本)ができる	レポート
12		講義・演習	照明実務2 仕込み図を読む/図面を読解できる	レポート
13		講義・演習	照明実務3 ピンスポット・フォロー/基本動作ができる	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	コンサートBasic(2) (舞台制作概論(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	公演内容を把握し、必要な資料作成を行う。Excel・PowerPointを使って資料作成を行う。						
到達目標	公演開催において、計画的に進行するための資料を作成するスキルを身につけることができる。						
評価方法と基準	筆記試験50% 実技試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	後期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	前期授業内容を復習しておく。
2		講義	台本を作成する①: マスター作成ができるようになる。	マスター作成について復習レポートを作成。
3		講義	台本を作成する②: 進行内容が書けるようになる。	進行内容を書くことについて復習レポートを作成。
4		講義	台本を作成する③: ト書きについて理解する。	ト書きの理解について復習レポートを作成。
5		講義	オリジナル台本を創ってみる。	オリジナル台本作成の復習レポートを作成。
6		講義	台本を基本に資料を作成する。	台本について復習レポートを作成。
7		講義	台本を印刷製本する。	印刷した台本を読む。
8		講義	we are!TSM渋谷の演出内容について考察し、資料を作成する。	we are!TSM渋谷の打合せを行う。
9		講義	we are!TSM渋谷の舞台監督業務内容を理解する。	we are!TSM渋谷の資料を作成する。
10		講義	we are!TSM渋谷の舞台監督業務におけるタイムテーブルや図面の作成を行う。	we are!TSM渋谷のリハーサルを行う。
11		講義	we are!TSM渋谷の演出内容についてあらためて考察し、現状の資料をまとめる。	we are!TSM渋谷のリハーサルを行う。
12		講義	we are!TSM渋谷の演出内容について照明、PA、映像セクションとの調整を行う。	進級制作展についての資料をまとめる。
13		講義	進級制作展にスタッフとして参加する。	打合せ、リハーサル立会、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	コンサートBasic(2) (音響技術基礎(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音響従事实務歴20年以上						
授業の学習 内容	音声の基本的な知識を学ぶ マイクやミキサー、などの音声収録に欠かせない機材を理解する 収録時のミキシング、マイキングを実践を通して学ぶ						
到達目標	映像に欠かせない音の理解を深め、基本的な知識を身に付け、録音技術の向上を目的する						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中継、収録システムについて①	次回に向けた復習
2		講義・演習	中継、収録システムについて②	中継、収録システムについての全2回のレポート作成
3		講義・演習	エフェクトについて①	次回に向けた復習
4		講義・演習	エフェクトについて②	エフェクトについての全2回レポート作成
5		講義・演習	サラウンドシステムについて①	次回に向けた復習
6		講義・演習	サラウンドシステムについて②	サラウンドシステムについての全2回のレポート作成
7		講義・演習	デジタルオーディオについて①	次回に向けた復習
8		講義・演習	デジタルオーディオについて②	デジタルオーディオについての全2回のレポート作成
9		講義・演習	ワイヤレスシステムについて①	次回に向けた復習
10		講義・演習	ワイヤレスシステムについて②	ワイヤレスシステムについての全2回のレポート作成
11		講義・演習	MAについて①	次回に向けた復習
12		講義・演習	MAについて②	MAについての全2回のレポート作成
13		講義・演習	テレビ音声について	次回に向けた復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートBasic(2) (ライティングデザイン基礎(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	鈴木 昌 広
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスの照明家としてコンサートやイベントで活動。実務歴25年以上						
授業の学習 内容	前期は、テレビ照明の基礎を学び、舞台照明との違いを明確に理解する。目指す方向性をを自分の中に捉えるように成長し、現場での理解力とスタッフのコミュニケーションの向上。						
到達目標	カメラ・モニター・照明機材を扱った演習・テレビ局の見学						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期の復習と後期の授業について	授業復習
2		講義・演習	前期の復習を元にテレビ照明の実習①	授業復習
3		講義・演習	前期の復習を元にテレビ照明の実習②	前期の復習を元にテレビ照明の実習についてレポート作成
4		講義・演習	スタジオ照明機構について①	授業復習
5		講義・演習	スタジオ照明機構について②	スタジオ照明機構についてのレポート作成
6		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①バラエティ	授業復習
7		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②バラエティ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
8		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①ロケ	授業復習
9		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②ロケ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
10		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①ドラマ	授業復習
11		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②ドラマ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
12		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①ミュージックビデオ	授業復習
13		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②ミュージックビデオ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞				

科目名	タレントマネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片桐豊
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター(15年)／企画制作業務～トップコート(11年)／タレント育成＆マネジメント～現サテライト東京／俳優Mg・演劇プロデュース等□						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。 タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。 そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。 本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、 物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、 芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	□タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る □講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる □テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	□口述試験 0点～25点 ・・・自分の好きなタレントについて語る。 当該タレントのジャンルや代表作、強み、競合、ファン層など多角的な視点、的確な言葉選びでその魅力を伝えられるか。 □総合的な授業態度 0点～75点 ・・・出席率(目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で行かない。)0～50点 ・・・授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。 0～25点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	業界で働く上で必要な力・スキルを考える	志望職種に就業した未来像を想像し、必要なスキルを考えてみる
2		講義	自己紹介志望する職種、将来目標を発表。	本校に入学に至った自分の気持ちを改めて考え、本講義で学びたいことを発表。
3		講義	業界人の感性に触れる 有名TVプロデューサーが作家に出した課題に挑戦	発想課題1枚の髪で「天国」と「地獄」を表現する
4		講義	マネージャーの仕事①種類と役割	事前に自分なりにマネージャーの仕事を調べてくる
5		講義	マネージャーの仕事② 実際の契約書を見て、事務所とタレントの関係そ学ぶ	タレント契約書の見本を閲覧し、気づいたことをレポート。
6		講義	業界(社会)で必要とされる人格① 著名タレントのエピソードに学ぶ 松坂桃李編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
7		講義	業界(社会)で必要とされる人格② 著名タレントのエピソードに学ぶ 山寺宏一・堺雅人編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
8		講義	テレビ番組の作り方 「世界不識発見」を例にキャスティングについて考える	事前にTBS「ふしぎ発見」番組概要を下調べする
9		講義	言語化、語彙を増やす大切さや必要性を学ぶ 美輪明宏「愛の讃歌」の映像をみて感想を発表	初見の映像の感想を発表
10		講義・演習	好きなタレント・アーティストについて語る①	プレゼン準備／発表
11		講義・演習	好きなタレント・アーティストについて語る②	プレゼン準備／発表
12		講義・演習	好きなタレント・アーティストについて語る③	プレゼン準備／発表
13		講義・演習	業界(社会)で必要とされる人格③ 著名タレントのエピソードに学ぶ ある俳優の失敗談編	有名タレントのエピソードを受けての感想レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	タレントマネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	片桐豊
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター(15年)／企画制作業務～トップコート(11年)／タレント育成＆マネジメント～現サテライト東京／俳優Mg・演劇プロデュース等□						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。 タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。 そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。 本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、 物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、 芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	□タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る □講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる □テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	□口述試験 0点～25点 …自分の好きなタレントについて語る。 当該タレントのジャンルや代表作品、強み、競合、ファン層など多角的な視点、的確な言葉選びでその魅力を伝えられるか。 □総合的な授業態度 0点～75点 …出席率(目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で行かない。)0～50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。 0～25点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	俳優のマネジメント 台本を読む。役作りのヒント／キャストニーズを考える。	事前に配布される台本を読み込んで演技体験 台本からキャラクターをイメージする
2		講義	適正診断テスト 性格把握と分析から自分の強み、弱みを知る	講師が用意する適正テストを受ける
3		講義	ダンサーなのに！？ なぜTAKAHIROをトップコートでマネジメントしたか	事前にTAKAHIROのほか著名ダンサー、振付師について自分なりに調べる
4		講義	タレントという職業を考える	メディアに出ているタレントの世に出たきっかけを調べてみる
5		講義	新人開発の方法と極意	講義を受けた感想レポート
6		講義	おすすめインフルエンサーをプレゼンする①	プレゼン準備／発表
7		講義	おすすめインフルエンサーをプレゼンする②	プレゼン準備／発表
8		講義	おすすめインフルエンサーをプレゼンする③	プレゼン準備／発表
9		講義	芸能に携わる仕事あれこれ 芸能界への入り口について考える	講義を受けた感想レポート
10		講義	情報解禁について	講義を受けた感想レポート
11		講義	メディアとの付き合い方芸能事務所における広報担当者の役割	講義を受けた感想レポート
12		講義	口述試験 面接に出るような質問に即興で答える	口述試験
13		講義	挨拶とオーラの話 プロスポーツ選手の日常に学ぶプロ意識	講義を受けた感想レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストマネジメント(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	上野新
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音楽プロダクションにて「DREAMS COME TRUE」「Cocco」などを中心に数多くのアーティストのマネージメント&プロデュースを行なう。数多くの楽曲制作、ライブ制作、プロモーション、ファンクラブ運営、グッズ制作などを行う。退職後も数多くのアーティストのマネージメント・プロデュースを行なう。						
授業の学習 内容	「アーティストとマネージャの関係」はケースバイケースです。お互いのキャラクターやクリエイティヴの方向性によって変わります。しかし、どのケースでも共通して言えるのは「マネージャーはアーティストにとって一番近い存在であり大事なパートナー。アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサーである。」ということです。それではマネージャーの実際の仕事内容とは？それを感じ、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。今後マネージャー以外にもなりたい職業が見つかる方もいらっしゃるでしょう。マネージャーの仕事、音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。そして、サブスク、AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティーのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション	プレゼンシミュレーション
2		講義	マネージャーってどんな仕事？-1	プレゼンシミュレーション
3		講義	マネージャーってどんな仕事？-2	プレゼンシミュレーション
4		講義	マネージャー以外にどんな仕事があるの？	プレゼンシミュレーション
5		講義	SNSビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
6		講義	ネットビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
7		講義	ライブ配信の現在	プレゼンシミュレーション
8		講義	アーティスト紙資料を作ってみよう	プレゼンシミュレーション
9		講義	アーティストの宣伝プランを考えてみよう	プレゼンシミュレーション
10		講義	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-1(著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
11		講義	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-2(著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
12		講義	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
13		講義	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストマネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	上野新
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音楽プロダクションにて「DREAMS COME TRUE」「Cocco」などを中心に数多くのアーティストのマネージメント&プロデュースを行なう。数多くの楽曲制作、ライブ制作、プロモーション、ファンクラブ運営、グッズ制作などを行う。退職後も数多くのアーティストのマネージメント・プロデュースを行なう。						
授業の学習 内容	「アーティストとマネージャの関係」はケースバイケースです。お互いのキャラクターやクリエイティヴの方向性によって変わります。しかし、どのケースでも共通して言えるのは「マネージャーはアーティストにとって一番近い存在であり大事なパートナー。アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサーである。」ということです。それではマネージャーの実際の仕事内容とは？それを感じ、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。今後マネージャー以外にもなりたい職業が見つかる方もいらっしゃるでしょう。マネージャーの仕事、音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。そして、サブスク、AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	どうしてアーティスト名やマークって世界にひとつだけなの？(登録商標)	プレゼンシミュレーション
2		講義	実際の仕事の進み方(RECORDING・ジャケット制作編)	プレゼンシミュレーション
3		講義	実際の仕事の進み方(プロモーション編)	プレゼンシミュレーション
4		講義	マナー講座	プレゼンシミュレーション
5		講義	ファンクラブビジネス	プレゼンシミュレーション
6		講義	物販ビジネス	プレゼンシミュレーション
7		講義	俳優事務所の仕事内容	プレゼンシミュレーション
8		講義	出演料の計算方法	プレゼンシミュレーション
9		講義	有料広告	プレゼンシミュレーション
10		講義	ライブ制作	プレゼンシミュレーション
11		講義	新人発掘	プレゼンシミュレーション
12		講義	ゲスト講師	プレゼンシミュレーション
13		講義	今後のエンタメビジネス	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ファンクラブビジネス(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。 基礎知識として主に下記項目を主な学習内容とする。 ・具体的な年間行事を知り、会員数や行事を先読みして企画する力を身につける。 ・顧客情報から得られる具体的な数字を把握し分析力を身に付ける。また、個人情報を持し管理することの重要性を学ぶ。 ・サービス毎に発生する対象者の抽出に必要な条件算出を学習する。 ・アーティストとファンを繋ぐコンテンツを提供するための企画・制作に必要な基礎知識や実務を学習する。						
到達目標	・ファンクラブの業務を把握した上で、予算表を作成することができる。 ・ExcelとCSVのデータ変換ができる。継続年数、継続率の算出ができる。継続特典、FC先行券売の対象者抽出ができ、併せて新規入会者の追加データを作成することができる。 ・新規獲得や継続促進を前提とした券売スケジュールを組むことができる。 ・有客イベント現地のブースにて入会/継続受付の施策企画、運営に必要な準備ができる。						
評価方法と基準	授業毎のレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	年間運営スケジュール 年間/毎月発生する業務の流れ	レポート
2		講義	運営基盤(1) 運営にあたり必要な基盤(管理システム、WEB、特典ノベルティ等)について	レポート
3		講義・演習	運営基盤(2) 月毎に発生する業務の数量の算出、対象者抽出の考え方	ワークシート提出
4		講義・演習	収支の成り立ちファンクラブの収支の成り立ち	ワークシート提出
5		演習	ユーザー分析 CSVとエクセルのデータ変換、文字情報のデータ変換、表データのグラフ化	ワークシート提出
6		講義	条件別対象者抽出(1) 特典対象者の条件だし及びデータ抽出	ワークシート提出
7		演習	条件別対象者抽出(2) 先行券売対象者の条件だし及びデータ抽出	ワークシート提出
8		演習	活動戦略(1) 過去の収支、今後の活動予定を元に今後の活動戦略をグループ討論	プレゼンテーション準備
9		演習	活動戦略(2) 活動戦略を予算書へ反映しプレゼンを行う	プレゼン資料提出
10		講義	券売スケジュール 会員増加を目的とした券売スケジュール組み及び対象者データの扱い、申込受付について	ワークシート提出
11		演習	ライティングアーティストの行動やリアクションの文章表現	ワークシート提出
12		講義	特典ノベルティ制作(1) 特典概要、グッズとの違い、規格について	レポート
13		講義・演習	特典ノベルティ制作(2) 部数の算出、制作スケジュール、アイテム企画	ワークシート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ファンクラブビジネス(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。 基礎知識として主に下記項目を主な学習内容とする。 ・会報誌の企画～発送までの一連の業務に必要な基礎知識や実務を学習する。 ・ファンクラブコンテンツ提供に適した文章力を身に付ける。 ・有形特典の制作に必要な基礎知識や実務を学習する。 ・クローズドならではのイベントの考え方を知り、イベント企画、プロモーション、運営について学ぶ。 ・企画した内容を周囲により分かりやすく伝えるためのアウトプットする術を学習し身につける。						
到達目標	・会報誌の制作に必要な資料を準備し、発送完了までの段取りが組める。 ・コンテンツ企画書の作成、ライティングなどのコンテンツ制作ができる。 ・特典ノベルティとグッズの違いを述べることができ、特典ノベルティの企画～発送まで進行できる。 ・一般的なコンサート/ライブとファンクラブイベントの違いを述べることができ、アーティストの特徴を活かしたFCイベントの企画ができる。						
評価方法と基準	授業毎のレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	会報誌制作(1) 会報誌の概要、ディテール、台割作成	ワークシート提出
2		講義・演習	会報誌制作(2) 会報誌向けコンテンツの企画	ワークシート提出
3		講義・演習	会報誌制作(3) 製本について、校正の基本	ワークシート提出
4		講義・演習	会報誌制作(4)発行部数、発送対象者、対象者へのフォローについて	ワークシート提出
5		講義・演習	有客イベント時の会場施策(1) イベント会場での会員増加機会を狙う施策について	ワークシート提出
6		講義・演習	有客イベント時の会場施策(2) イベント会場に設置するブース運営について	ワークシート提出
7		講義・演習	有客イベント時の会場施策(3) イベント会場内受付窓口の対応マニュアルの作成について	ワークシート提出
8		講義・演習	有客イベント時のコンテンツ企画制作(1) WEBサイト上に展開する有客イベントのコンテンツを企画する	ワークシート提出
9		講義・演習	有客イベント時のコンテンツ企画制作(2) WEBサイト上に展開する有客イベントのコンテンツの制作について	ワークシート提出
10		講義・演習	FCイベント企画(1) 一般集客イベントとの違い、イベント内容の企画	ワークシート提出
11		講義・演習	FCイベント企画(2)宣伝及び券売について	ワークシート提出
12		講義・演習	FCイベント企画(3) 入場者の本人確認及び当選データの取り扱い	ワークシート提出
13		講義・演習	FCイベント企画(4) 会員認証マニュアルの作成	ワークシート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	タレントマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	片桐豊
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター(15年)／企画制作業務～トップコート(11年)／タレント育成＆マネジメント～現サテライト東京／俳優Mg・演劇プロデュース等□						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。 タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。 そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。 本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、 物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、 芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	□タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る □講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる □テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	□口述試験 0点～25点 …自分の好きなタレントについて語る。 当該タレントのジャンルや代表作品、強み、競合、ファン層など多角的な視点、的確な言葉選びでその魅力を伝えられるか。 □総合的な授業態度 0点～75点 …出席率(目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で行かない。)0～50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。 0～25点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	自己紹介志望する職種や目標を発表	進級した現在の時点での将来目標と本講義で学びたいことを発表。
2		講義	マネージャーの仕事営業とサポート	講義を受けた感想レポート
3		講義	芸能界勢力図 知っておきたい芸能界の歴史概略	講義を受けた感想レポート
4		講義・演習	適正診断テスト性格把握と分析から自分の強み、弱みを知る	講師が用意する適正テストを受ける
5		講義・演習	10年後の自分① 自分の長所短所を踏まえた将来目標を考え発表	10年後の理想の自分を想像し、所定の用紙に記入、発表する
6		講義・演習	10年後の自分② 自分の長所短所を踏まえた将来目標を考え発表	10年後の理想の自分を想像し、所定の用紙に記入、発表する
7		講義・演習	プロダクション研究 芸能プロダクションの見つけ方、見分け方	講義を受けて、自分が入りたいと思う事務所を10社ピックアップする
8		講義・演習	面接対策 企業は何をみているか。志望動機等履歴書作成のヒント。	授業でのアドバイスをもとに、入りたい企業用に履歴書を作成する。
9		講義・演習	模擬面接 ① ダメ出し&アドバイス 志望動機・自己PR 履歴書添削	志望する企業向けの志望動機・自己PRを履歴書に記入して発表する
10		講義・演習	模擬面接 ② ダメ出し&アドバイス 志望動機・自己PR 履歴書添削	志望する企業向けの志望動機・自己PRを履歴書に記入して発表する
11		講義・演習	人事評定から考える雇用側のニーズと 磨くべき社会(組織)人のスキル	人事評定項目から自分のアピールを考察しレポートする
12		講義・演習	筆記試験 人事評定表の空欄を埋める	筆記試験を受ける
13		講義・演習	質問回 主に就活に向けた生徒からの質問に対しアドバイス	現状の不安や疑問をきちんと言語化して質問できるように考えてくる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	タレントマネジメント(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	片桐豊
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	文化放送開発センター(15年)／企画制作業務〜トップコート(11年)／タレント育成 & マネジメント〜現サテライト東京／俳優Mg・演劇プロデュース等□						
授業の学習 内容	タレントマネジメントは、人のマネジメントです。 タレントも人であり、意思も感情もあり、仕事内容や体調など様々な要素により常に臨機応変な対応が求められます。 そして、タレントはもちろん仕事関係者に何かを伝えたり、関係構築をする上で重要なのがコミュニケーション力。 本授業では、実務経験に基づくタレントとの接し方や仕事への向き合い方などを伝えつつ、 物事を柔軟に捉え、考え、そしてそれを言葉にできる能力を高めるべく、適宜生徒自身が発信する課題を出し、 芸能界のみならず一般社会でも通用する誠実さや総合的な人間力醸成の一助となるような授業に努めます。						
到達目標	□タレントとマネージャー(事務所)の関係や仕事の内容など業界のことを知る □講師が経験したタレントとの仕事でのエピソードから、芸能界、エンタメ界で活躍する人々の感性や大切にしていることを知る □見たこと、聞いたことに対し、広い視野や様々な角度から考えられる力を養うとともに、自分の考えを言語化できるようになる □テレビや映画の作り方の概要を知る						
評価方法と基準	□口述試験 0点〜25点 …自分の好きなタレントについて語る。 当該タレントのジャンルや代表作品、強み、競合、ファン層など多角的な視点、的確な言葉選びでその魅力を伝えられるか。 □総合的な授業態度 0点〜75点 …出席率(目的を持って授業に出席する。社会人の準備として気分で行かない。)0〜50点 …授業中の態度。質問や課題に対して誠実に答えられるか。自分の考えを言語化できるか。 0〜25点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	芸能界お金事情 タレントのギャラやMgの給与などの相場について	講義を受けた感想レポート口
2		講義	タレントマネジメント、短期・中期計画の立て方	自習の課題に生かす口
3		講義	コミュニケーションスキルについての解説 言語化能力と非言語によるコミュニケーション術	講義を受けての感想レポート
4		講義	時事問題・芸能トピックスについて考察する① この時期に起きているトピックスについて考察し、発表、意見交換する	話題になっている芸能トピックスについての見解をまとめ発表する
5		講義	時事問題・芸能トピックスについて考察する② この時期に起きているトピックスについて考察し、発表、意見交換する	話題になっている芸能トピックスについての見解をまとめ発表する
6		講義	おすすめインフルエンサーをプレゼンする①	プレゼン準備／発表
7		講義	おすすめインフルエンサーをプレゼンする②	プレゼン準備／発表
8		講義	実際にタレントに行ったアドバイスを伝授① レッスンとWSの違い、離見の見などの実例を紹介	講義を受けての感想レポート
9		講義	実際にタレントに行ったアドバイスを伝授② 緊張に打ち勝つ方法、認められるのではなく認めさせるなど	講義を受けての感想レポート
10		講義	タレントマネジメント～対人関係で強いメンタルを持つための極意	授業を受けての感想レポート
11		講義	口述試験企業面接で想定される質問に対して即興で回答する	口述試験を受ける
12		講義	質問回 主に卒業・就職に向けた生徒からの質問に対しアドバイス	現状の不安や疑問をきちんと言語化して質問できるように考えてくる
13		講義	エンタメ業界／社会で働く上で大切なこと ～とあるディズニーダンサーのエピソード	講義を受けた感想レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Webデザイン(1)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	福永篤太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスグラフィック・WEBデザイナー。業界歴は30年以上、講師歴20年以上						
授業の学習 内容	WEBページを作るための講義と、企画・演習、およびWIXによるWEBデザインの制作。 オンラインで作る履歴書やインフォグラフィックの制作方法を学ぶ。						
到達目標	WEBサイトの構造を習得し、WEBデザインやWEB上でのデザインが出来るようになる。						
評価方法と基準	制作課題(Webサイト)の出来により評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	本授業を受講する上での基礎的なWEB用語を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
2		講義	html・CSSの解説を行い、インターネットの基礎知識を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
3		講義	フラッシュとhtml5の解説を行い、インターネットの基礎知識を理解する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
4		講義	adobeソフトの種類と活用方法を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
5		講義	adobeDreamweaverの使用用途と活用方法を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
6		講義	これまでの講義内容を基に筆記試験を行う。	試験結果を復習し、間違った箇所を直して提出
7		講義	インフォグラフィックの利点と制作方法と習得し、実践できる。	自身のHP作成にあたりお手本のサイトを検証
8		講義	ホームページの作り方の行程を習得する。	本日の授業を基に自作HPの資料を集めておく
9		講義	WIXで自作ホームページの制作にあたり、企画書・構成・ページ数を作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
10		講義	自作ホームページの作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
11		講義	前回に続き同じ内容・ページで違うデザイン・アプローチの制作を行う。	本日の授業に引き続き作成し提出
12		講義	オンライン履歴書の用途と自己PRシートを実用例をもとに作成方法を習得する。	配布した課題プリントを記入し次回提出
13		講義	オンライン履歴書の用途と自己PRシートを実用例をもとに作成する。	本日の授業に引き続き作成し提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Webデザイン(2)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	福永篤太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスグラフィック・WEBデザイナー。業界歴は30年以上、講師歴20年以上						
授業の学習 内容	WEBページを作るための講義と、企画・演習、およびWIXによるWEBデザインの制作。 オンラインで作る履歴書やインフォグラフィックの制作方法を学ぶ。						
到達目標	WEBサイトの構造を習得し、WEBデザインやWEB上でのデザインが出来るようになる。						
評価方法と基準	制作課題(Webサイト)の出来により評価する						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	年間の授業方針、「M-Bug WEB」の更新までの流れを学ぶ	参考にしたいネットニュースのURLを提出
2		講義	記事として成り立つための文章構成を学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
3		講義	アーティスト・企業の意向に沿った記事の書き方を学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
4		講義	検索エンジンの引っかかり方、SEO対策を学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
5		講義	画像の使用権利とコンプライアンスを学ぶ	本日の授業受講の元、記事を作成し提出
6		講義	現代のネットニュース内、コンテンツの種類と特徴を学ぶ	本日の授業受講の元、自分が挑戦したいコンテンツを企画書にして提出
7		講義	ネットニュースの記事の書き方や構成を学ぶ	次回記事にしたいアーティストを選出し情報を調べて提出
8		講義	ネットニュースの記事を書く	授業に引き続き、記事を作成し提出
9		講義	ライブレポートの記事の書き方や構成を学ぶ	次回記事にしたいライブを選出し情報を調べて提出
10		講義	ライブレポートの記事を書く	授業に引き続き、記事を作成し提出
11		講義	インタビュー記事の書き方書き方や構成を学ぶ	次回記事にするアーティストの情報を調べて提出
12		講義	インタビュー記事を書く	授業に引き続き、記事を作成し提出
13		講義	「明日への扉」劇中ハンドインタビュー記事を作成、インタビューを行う	アーティストへのアポイントを取る、アーティスト写真があれば提出してもらう
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	イベントプロデュース(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手イベントターのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	はじめに ～ 企画って何？	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
2		講義	企画は誰の為 を理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
3		講義	会場について理解する	全国のホールを調査する
4		講義	5W1Hを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
5		講義	イベント本番の時間的流れを理解する	モデルタイムテーブルの作成し提出
6		講義	メディアとプロモーションを理解する	メディアネットアークの調査
7		講義	ホームページとSNSを理解する	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
8		講義	マーケットについて知る	シンクタンクのレポートを確認する
9		講義	売れてる？ヒットチャートを理解する	ヒットチャート調査のリスト化
10		講義	スタッフについて知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
11		講義	集客するには(入場券とプレイガイド)を理解する	プレイガイドを研究しまとめたものを提出
12		講義	イベントのビジネスモデルを知る	本日の授業をもつてのレポートを800字以内で提出
13		講義	企画立案しプレゼンする	アーティスト活動調査
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	イベントプロデュース(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	高田雄貴
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	大手イベントターのキョードーからライブ、コンサート制作の道に入り、テレビ番組関連のイベントも担当。 TOKYO IDOL FESTIVAL等の大型ライブイベント、「めざましライブ」「Mステスーパーライブ」や斉藤和義ら国内外アーティストのツアー制作。2014夏のお台場新大陸も担当。						
授業の学習 内容	[1] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)についての基礎知識を学習する [2] 音楽ビジネスのコア3ビジネスのうちイベント(コンサート/ライブ他)企画の実施についての基礎知識を学習する [3] 音楽ビジネスにおける基礎能力である、企画(プランニング)について学ぶ中から企画実務の基本を学習する						
到達目標	[1] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスのコアを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [2] 音楽業界への就職に必要な音楽ビジネスの仕組みを知る事で業界人として必要な基礎知識を構築する [3] 音楽業界への就職後に必要な音楽ビジネスの実務を知る事で業界人として必要な心構えを構築する						
評価方法と基準	[1] 定期試験 ※筆記試験 (評価割合 40%) [2] 受講態度 ※レポート課題提出 (評価割合 60%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	企画項目を整理する	本日の授業をもってレポートを800字以内で作成し提出
2		講義	企画書作成の準備をする・1	アーティストを調査しレポートとして提出
3		講義	企画書作成の準備をする・2	夏フェスティバルを調査しレポートとして提出
4		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・1	イベントを調査しレポートとして提出
5		講義	実在のイベントをモデルに企画書化する・2	モデルタイムテーブルの作成
6		講義	会場設備理論(全国の会場を分析する)ホール編	全国のホールを調査してレポートとして提出
7		講義	会場設備理論(全国の会場を分析する)ライブハウス編	全国のライブハウスを調査してレポートとして提出
8		講義	会場設備理論(全国の会場を分析する)アリーナスタジアム編	全国のアリーナスタジアムを調査してレポートとして提出
9		講義	イベント企画の研究	オリンピックについて調査してレポートとして提出
10		講義	イベントと法規	消防申請について調査しレポートとして提出
11		講義	単体イベントとツアー	クリスマスツアーを調査しレポートとして提出
12		講義	ツアーの企画を立案する	交通インフラを調査してレポートとして提出する
13		講義	イベントのスタイルとビジネスモデル	ACPCの資料を検証しレポートとして提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業時間内の制作が中心で、教室内で扱えないものを時間外学習として進めます。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度実績の概要書・終了報告書参照・自作PPT				

科目名	アーティストマネジメント(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	上野新
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音楽プロダクションにて「DREAMS COME TRUE」「Cocco」などを中心に数多くのアーティストのマネージメント&プロデュースを行なう。数多くの楽曲制作、ライブ制作、プロモーション、ファンクラブ運営、グッズ制作などを行う。退職後も数多くのアーティストのマネージメント・プロデュースを行なう。						
授業の学習 内容	「アーティストとマネージャの関係」はケースバイケースです。お互いのキャラクターやクリエイティヴの方向性によって変わります。しかし、どのケースでも共通して言えるのは「マネージャーはアーティストにとって一番近い存在であり大事なパートナー。アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサーである。」ということです。それではマネージャーの実際の仕事内容とは？それを感じ、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。今後マネージャー以外にもなりたい職業が見つかる方もいらっしゃるでしょう。マネージャーの仕事、音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。そして、サブスク、AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション	プレゼンシミュレーション
2		講義	マネージャーってどんな仕事？-1	プレゼンシミュレーション
3		講義	マネージャーってどんな仕事？-2	プレゼンシミュレーション
4		講義	マネージャー以外にどんな仕事があるの？	プレゼンシミュレーション
5		講義	SNSビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
6		講義	ネットビジネスの現在	プレゼンシミュレーション
7		講義	ライブ配信の現在	プレゼンシミュレーション
8		講義	アーティスト紙資料を作ってみよう	プレゼンシミュレーション
9		講義	アーティストの宣伝プランを考えてみよう	プレゼンシミュレーション
10		講義	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-1(著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
11		講義	CDやダウンロードやサブスクでいくら儲かるの？-2(著作権ビジネス)	プレゼンシミュレーション
12		講義	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
13		講義	作詞カリキュラム	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	アーティストマネジメント(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	上野新
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	音楽プロダクションにて「DREAMS COME TRUE」「Cocco」などを中心に数多くのアーティストのマネージメント&プロデュースを行なう。数多くの楽曲制作、ライブ制作、プロモーション、ファンクラブ運営、グッズ制作などを行う。退職後も数多くのアーティストのマネージメント・プロデュースを行なう。						
授業の学習 内容	「アーティストとマネージャの関係」はケースバイケースです。お互いのキャラクターやクリエイティヴの方向性によって変わります。しかし、どのケースでも共通して言えるのは「マネージャーはアーティストにとって一番近い存在であり大事なパートナー。アーティストの運命を左右する一番身近なプロデューサーである。」ということです。それではマネージャーの実際の仕事内容とは？それを感じ、マネージャーの仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶことがこの授業の目的です。学生の皆さんがそれぞれの価値観、感覚で「マネージャーの仕事」を感じ取り、学生の皆さんの将来の夢を叶える土台作りをします。今後マネージャー以外にもなりたい職業が見つかる方もいらっしゃるでしょう。マネージャーの仕事、音楽業界の仕事以外に広くエンタメビジネス全般についても学生の皆さんと一緒に考えて行きます。そして、サブスク、AIなど数多くの新たなエンタメツールが生まれている現在、音楽業界は大きな転換期にあります。過去に囚われないこれからの音楽ビジネスの可能性を学生の皆さんと一緒に考えていきます。						
到達目標	①「マネージャー」の仕事をしてゆく上で必要な知識を学ぶ ②それぞれのキャラクターを大事にしたコミュニケーション能力のスキルアップ ③それぞれのキャラクターを大事にしたクリエイティビティのスキルアップ ④マネージャーとして必要なマネタイズ(権利周り)の知識を習得						
評価方法と基準	□総合的な授業態度 ・・・出席率 ・・・能動的なアティテュード						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	どうしてアーティスト名やマークって世界にひとつだけなの？(登録商標)	プレゼンシミュレーション
2		講義	実際の仕事の進み方(RECORDING・ジャケット制作編)	プレゼンシミュレーション
3		講義	実際の仕事の進み方(プロモーション編)	プレゼンシミュレーション
4		講義	マナー講座	プレゼンシミュレーション
5		講義	ファンクラブビジネス	プレゼンシミュレーション
6		講義	物販ビジネス	プレゼンシミュレーション
7		講義	俳優事務所の仕事内容	プレゼンシミュレーション
8		講義	出演料の計算方法	プレゼンシミュレーション
9		講義	有料広告	プレゼンシミュレーション
10		講義	ライブ制作	プレゼンシミュレーション
11		講義	新人発掘	プレゼンシミュレーション
12		講義	ゲスト講師	プレゼンシミュレーション
13		講義	今後のエンタメビジネス	プレゼンシミュレーション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ファンクラブビジネス(3)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。 基礎知識として主に下記項目を主な学習内容とする。 ・具体的な年間行事を知り、会員数や行事を先読みして企画する力を身につける。 ・顧客情報から得られる具体的な数字を把握し分析力を身に付ける。また、個人情報を持し管理することの重要性を学ぶ。 ・サービス毎に発生する対象者の抽出に必要な条件算出を学習する。 ・アーティストとファンを繋ぐコンテンツを提供するための企画・制作に必要な基礎知識や実務を学習する。						
到達目標	・ファンクラブの業務を把握した上で、予算表を作成することができる。 ・ExcelとCSVのデータ変換ができる。継続年数、継続率の算出ができる。継続特典、FC先行券売の対象者抽出ができ、併せて新規入会者の追加データを作成することができる。 ・新規獲得や継続促進を前提とした券売スケジュールを組むことができる。 ・有客イベント現地のブースにて入会/継続受付の施策企画、運営に必要な準備ができる。						
評価方法と基準	授業毎のレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	年間運営スケジュール 年間/毎月発生する業務の流れ	レポート
2		講義	運営基盤(1) 運営にあたり必要な基盤(管理システム、WEB、特典ノベルティ等)について	レポート
3		講義・演習	運営基盤(2) 月毎に発生する業務の数量の算出、対象者抽出の考え方	ワークシート提出
4		講義・演習	収支の成り立ちファンクラブの収支の成り立ち	ワークシート提出
5		演習	ユーザー分析 CSVとエクセルのデータ変換、文字情報のデータ変換、表データのグラフ化	ワークシート提出
6		講義	条件別対象者抽出(1) 特典対象者の条件だし及びデータ抽出	ワークシート提出
7		演習	条件別対象者抽出(2) 先行券売対象者の条件だし及びデータ抽出	ワークシート提出
8		演習	活動戦略(1) 過去の収支、今後の活動予定を元に今後の活動戦略をグループ討論	プレゼンテーション準備
9		演習	活動戦略(2) 活動戦略を予算書へ反映しプレゼンを行う	プレゼン資料提出
10		講義	券売スケジュール 会員増加を目的とした券売スケジュール組み及び対象者データの扱い、申込受付について	ワークシート提出
11		演習	ライティングアーティストの行動やリアクションの文章表現	ワークシート提出
12		講義	特典ノベルティ制作(1) 特典概要、グッズとの違い、規格について	レポート
13		講義・演習	特典ノベルティ制作(2) 部数の算出、制作スケジュール、アイテム企画	ワークシート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	ファンクラブビジネス(4)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	ファンクラブ、音楽業界の基礎知識を学び、実習を通して即戦力となる人材育成を行うカリキュラム。 基礎知識として主に下記項目を主な学習内容とする。 ・会報誌の企画～発送までの一連の業務に必要な基礎知識や実務を学習する。 ・ファンクラブコンテンツ提供に適した文章力を身に付ける。 ・有形特典の制作に必要な基礎知識や実務を学習する。 ・クローズドならではのイベントの考え方を知り、イベント企画、プロモーション、運営について学ぶ。 ・企画した内容を周囲により分かりやすく伝えるためのアウトプットする術を学習し身につける。						
到達目標	・会報誌の制作に必要な資料を準備し、発送完了までの段取りが組める。 ・コンテンツ企画書の作成、ライティングなどのコンテンツ制作ができる。 ・特典ノベルティとグッズの違いを述べることができ、特典ノベルティの企画～発送まで進行できる。 ・一般的なコンサート/ライブとファンクラブイベントの違いを述べることができ、アーティストの特徴を活かしたFCイベントの企画ができる。						
評価方法と基準	授業毎のレポート/ワークシートによって成績を判定します。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	会報誌制作(1) 会報誌の概要、ディテール、台割作成	ワークシート提出
2		講義・演習	会報誌制作(2) 会報誌向けコンテンツの企画	ワークシート提出
3		講義・演習	会報誌制作(3) 製本について、校正の基本	ワークシート提出
4		講義・演習	会報誌制作(4)発行部数、発送対象者、対象者へのフォローについて	ワークシート提出
5		講義・演習	有客イベント時の会場施策(1) イベント会場での会員増加機会を狙う施策について	ワークシート提出
6		講義・演習	有客イベント時の会場施策(2) イベント会場に設置するブース運営について	ワークシート提出
7		講義・演習	有客イベント時の会場施策(3) イベント会場内受付窓口の対応マニュアルの作成について	ワークシート提出
8		講義・演習	有客イベント時のコンテンツ企画制作(1) WEBサイト上に展開する有客イベントのコンテンツを企画する	ワークシート提出
9		講義・演習	有客イベント時のコンテンツ企画制作(2) WEBサイト上に展開する有客イベントのコンテンツの制作について	ワークシート提出
10		講義・演習	FCイベント企画(1) 一般集客イベントとの違い、イベント内容の企画	ワークシート提出
11		講義・演習	FCイベント企画(2)宣伝及び券売について	ワークシート提出
12		講義・演習	FCイベント企画(3) 入場者の本人確認及び当選データの取り扱い	ワークシート提出
13		講義・演習	FCイベント企画(4) 会員認証マニュアルの作成	ワークシート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			設定した目的と前週を振り返り、復習をする。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (1) (PA Advance (1))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	楽器をオペレートするために必要となる音作りの知識と技術を学ぶ。 本番時のトラブル等に対処できる行動力を養う。 PAアシスタントとして実際の現場で必要とされる人材を育成する。						
到達目標	歌ものだけではなく、バンドのオペレートも出来るようになる。 イベント本番時のトラブル等に対処できるような行動力をつける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	音作り① DRUM単体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探す
2		演習	音作り② DRUM全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
3		演習	音作り③ BASS,GTRを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
4		演習	音作り④ KEY,PERCを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
5		演習	音作り⑤ BAND全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
6		演習	シミュレーションライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかりと聞いておく。
7		演習	本番ライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかりと聞いておく。
8		演習	ワイヤレスについて理解する	PCの最低限の使い方を確認しておく。
9		演習	Workbenchの使用方法を学ぶ	Workbenchの最低限の使い方
10		演習	Ableton Liveの使用方法を学ぶ	Ableton Liveの最低限の使い方
11		演習	卒業制作展に向けての最終確認	資料を集めておく
12		演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
13		演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業で学んだ内容についての復習レポート作成し、PA機材を調べる。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (1) (照明 Advance (1))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐々木治郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。 以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	基本的に反復した授業内容。繰り返し必要最低限の基礎知識や基礎技術をこの授業枠で会得しなければ、現場で機能する人材になることができない。またチームワークが大切な職業であるため、火曜日の照明ワークショップと共に人とのコミュニケーション能力の向上も育成ポイント。前述の基礎知識や技術を学生間や学生講師間で議論しながらイメージを膨らます事が不可欠になるので、“会話”しながら授業を進めていく。						
到達目標	①前期から更に増した基礎知識と基礎技術の向上を現場(学内イベント)で生かす。②特に演習時はグループ作業が多いため、様々な事柄をコミュニケーションをとって解決できる人材になる。③照明家の楽しさや難しさを共感、共有できる授業にする事が最大の目標。						
評価方法と基準	1) 定期試験30% 2) 各授業ごとの課題試験10% 3) 実技作業10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
2		演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
3		演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
4		演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
5		演習	コミュニケーションをとりながら仕込み、さおの操作ができる	左記を様々なケースで反復学習
6		演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
7		演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
8		演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
9		演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
10		演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
11		演習	演目に対する理解と明かり作りの実践、イベントの明かり作り、打ち込みができる①	各自与えられた演目の内容を深く理解する
12		演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13		演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (1) (ムービング Advance (1))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代に於いて必須とも言えるムービングライト、その特性と機能を学ぶ。□						
到達目標	仕込みに応じて、パッチの変更、設定が出来るようにする。 エフェクトを利用した、様々なシーンの作成。 細かな機能を覚えることにより、スムーズにシーンの作成、修正ができるようにする。						
評価方法と基準	筆記、または実技テストによる採点。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	1年次の復習	レポート□
2		講義・演習	パッチ、ステージセットアップ、パンチルト設定。	レポート□
3		講義・演習	パッチ、アトリビュート設定関連、マクロ。	レポート□
4		講義・演習	SHOW作成を一人ずつ。	レポート□
5		講義・演習	メンテナンス、ムービング本体設定。	レポート□
6		講義・演習	エフェクト応用	レポート□
7		講義・演習	プリセットフィルター、アップデートオプション、ストアオプション。	レポート□
8		講義・演習	小復習。	レポート□
9		講義・演習	ATコピー、マスター関連、フリーズ。	レポート□
10		講義・演習	アトリビュートタイム、ディレイ。	レポート□
11		講義・演習	MA1について	レポート□
12		講義・演習	GrandMA3D SHOW作成。	レポート□
13		講義・演習	テスト、SHOW作成関連。	レポート□
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (1) (Vecter Works Basic (1))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。
2		講義	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。
3		講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
4		講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
5		講義	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
6		講義	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。
7		講義	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
8		講義	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
9		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
10		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
11		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
12		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
13		講義	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、卒業進級制作展の準備を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
ベクターワークス トレーニングブックより抜粋・実公演図面				

科目名	コンサートAdvance (1) (舞台監督演習Advance(1))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督 舞台制作に関する 1年時で学んだ事を基礎知識にして 選りスキルアップする為の 講義 及び 実技□						
到達目標	舞台監督及び 舞台制作等の具体的内容を習得して 将来的な仕事での知識 及び即戦力に 繋げる						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	オリエンテーション 授業内容の説明	授業日時 時間を調べる □
2		講義	舞台監督に関しての応用知識 を理解する	1 年時 の 舞台監督講義 の 復習□
3		講義	舞台演出 に関して 理解する	舞台演出 とは 何かの 復習
4		講義	舞台制作 に関して 理解する	1 年時 学園祭の 復習□
5		講義	音楽 の 同期 に関して 確実に 理解する□	音楽 の 同期 とは何か調べる
6		講義・演習	舞台美術に関しての応用知識を理解する	1 年時 舞台美術の 復習
7		講義・演習	中間試験 及び 復習講義	講義の内容の復習をする
8		講義・演習	舞台美術 の素材に関して 理解する□	舞台美術 の素材を調べる
9		講義・演習	舞台 での 安全 に関して 確実に理解する□	舞台上での 危険性 を調べる□
10		講義・演習	学園祭 の 舞台制作 に関して 理解する	学園祭の 内容 の 把握□
11		講義・演習	前期講義内容を復習し確実な知識とする	前期の授業内容を見直す
12		講義・演習	学園祭 の 舞台監督 を 理解する	学園祭の 作成資料 の 把握□
13		講義・演習	前期 テスト（筆記 及び 実技）	前期の全ての授業内容の復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			準備学習 各授業のテーマを調べて下さい 時間外学習 授業日の曜日に必ず復習して下さい	
【使用教科書・教材・参考書】				
学内に有る全ての機材の使用				

科目名	コンサートAdvance (1) (照明デザイン (1))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	学校公演に向け、技術のスキルアップと後輩の指導						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	授業ガイダンスと就職に向けて	レポート
2		講義・演習	舞台現場で使われる資料	レポート
3		講義・演習	光について	レポート
4		講義・演習	色について	レポート
5		講義・演習	コンソールの基礎	レポート
6		講義・演習	ヴィジュアルライザーソフト①基本が理解できる	レポート
7		講義・演習	ヴィジュアルライザーソフト②作図できる	レポート
8		講義・演習	ヴィジュアルライザーソフト③パッチができる	レポート
9		講義・演習	ネットワークを使用したDMX接続	レポート
10		講義・演習	劇場の歴史	レポート
11		講義・演習	上演芸術の歴史	レポート
12		講義・演習	テレビの歴史	レポート
13		講義・演習	前期まとめ	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	コンサートAdvance (1) (音響技術基礎 (3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音響従事实務歴20年以上						
授業の学習 内容	音声の基本的な知識を学ぶ マイクやミキサー、などの音声収録に欠かせない機材を理解する 収録時のミキシング、マイキングを実践を通して学ぶ						
到達目標	映像に欠かせない音の理解を深め、基本的な知識を身に付け、録音技術の向上を目的する						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2		講義	音声収録とは	音声収録に関しての復習レポートを作成。
3		講義	ケーブルとコネクタの種類・違いについて	ケーブルとコネクタの種類・違いについてのレポートを作成
4		講義・演習	映像業界におけるケーブルの巻き方、取り扱い方について	映像業界におけるケーブルの巻き方、取り扱い方についてのレポートを作成
5		講義	マイクの種類について①	次回にむけた復習
6		講義	マイクの種類について②	マイクの種類についての全2回分のレポート作成
7		講義・演習	マイク的使用方法について①	次回にむけた復習
8		講義・演習	マイク的使用方法について②	マイク的使用方法についての全2回分のレポート作成
9		講義・演習	ミキサーの取り扱いについて	ミキサーの取り扱いについてのレポート作成
10		講義・演習	カメラの音声設定について①	次回にむけた復習
11		講義・演習	カメラの音声設定について②	カメラの音声設定についての全2回分のレポート作成
12		講義・演習	マイクミキシングについて①	次回にむけた復習
13		講義・演習	マイクミキシングについて②	マイキングについての全2回分のレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (1) (ライティングデザイン基礎 (3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木 昌 広
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスの照明家としてコンサートやイベントで活動。実務歴25年以上						
授業の学習 内容	映像制作の向上を目的とし、制作する作品において理想の撮影ができるよう照明への理解を深める						
到達目標	映像制作を行う上でのライティングデザインを理解し、基礎知識を習得						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明	ガイダンス/授業の受け方、ポイント等の説明を復習する。
2		講義・演習	映像制作における照明の役割を学ぶ①	授業内容についての復習レポートを作成。
3		講義・演習	映像制作における照明の役割を学ぶ②	授業内容についての復習レポートを作成。
4		講義・演習	映像制作における照明の役割を学ぶ③	全3回の授業内容についての復習レポートを作成。
5		講義・演習	色の基本知識を学ぶ①	授業内容についての復習レポートを作成。
6		講義・演習	色の基本知識を学ぶ②	授業内容についての復習レポートを作成。
7		講義・演習	色の基本知識を学ぶ③	全3回の授業内容についての復習レポートを作成。
8		講義・演習	照明機材を学ぶ①	授業内容についての復習レポートを作成。
9		講義・演習	照明機材を学ぶ②	全2回の授業内容についての復習レポートを作成。
10		演習	物品に対する照明の置き位置(ポジション)を学ぶ①	実際に行った実習を元にレポートにまとめて提出
11		演習	人物に対する照明の置き位置(ポジション)を学ぶ②	実際に行った実習を元にレポートにまとめて提出
12		演習	映像照明応用①	授業内容についての復習レポートを作成。
13		演習	映像照明応用②	授業内容についての復習レポートを作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞				

科目名	コンサートAdvance (2) (PA Advance (2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	180 12単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	楽器をオペレートするために必要となる音作りの知識と技術を学ぶ。 本番時のトラブル等に対処できる行動力を養う。 PAアシスタントとして実際の現場で必要とされる人材を育成する。						
到達目標	歌ものだけではなく、バンドのオペレートも出来るようになる。 イベント本番時のトラブル等に対処できるような行動力をつける。						
評価方法と基準	実技試験						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	音作り① DRUM単体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探す
2		演習	音作り② DRUM全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
3		演習	音作り③ BASS,GTRを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
4		演習	音作り④ KEY,PERCを学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
5		演習	音作り⑤ BAND全体を学ぶ	CDなどで自分の好きな音を探し準備しておく。
6		演習	シミュレーションライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかりと聞いておく。
7		演習	本番ライブを通してオペレート経験を積む。	事前に曲をしっかりと聞いておく。
8		演習	ワイヤレスについて理解する	PCの最低限の使い方を確認しておく。
9		演習	Workbenchの使用方法を学ぶ	Workbenchの最低限の使い方
10		演習	Ableton Liveの使用方法を学ぶ	Ableton Liveの最低限の使い方
11		演習	卒業制作展に向けての最終確認	資料を集めておく
12		演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
13		演習	卒業制作展でPAを担当する。	現場で気付いた事柄をまとめておく。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (2) (照明 Advance (2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐々木治郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。 以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	基本的に反復した授業内容。繰り返し必要最低限の基礎知識や基礎技術をこの授業枠で会得しなければ、現場で機能する人材になることができない。またチームワークが大切な職業であるため、火曜日の照明ワークショップと共に人とのコミュニケーション能力の向上も育成ポイント。前述の基礎知識や技術を学生間や学生講師間で議論しながらイメージを膨らます事が不可欠になるので、“会話”しながら授業を進めていく。						
到達目標	①前期から更に増した基礎知識と基礎技術の向上を現場(学内イベント)で生かす。②特に演習時はグループ作業が多いため、様々な事柄をコミュニケーションをとって解決できる人材になる。③照明家の楽しさや難しさを共感、共有できる授業にする事が最大の目標。						
評価方法と基準	1) 定期試験30% 2) 各授業ごとの課題試験10% 3) 実技作業10%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
2		演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
3		演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
4		演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
5		演習	コミュニケーションをとりながら仕込み、さおの操作ができる	左記を様々なケースで反復学習
6		演習	プランナーオペレーター等グループ作業での机上による明かり作りができる	各自課題曲決めと残作業
7		演習	前週内容を発表し、各自の照明内容を分析する事ができる	分析した上で様々な曲テーマで反復学習
8		演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
9		演習	器材の愛情を養い、メンテナンスを通じて仕組みを知り工具の使い方や器材の構造を覚える	左記を様々な器材でメンテナンス
10		演習	シュートにおけるさおの使い方、現場で求められるさおの技術を習得する	左記を様々なケースで反復学習
11		演習	演目に対する理解と明かり作りの実践、イベントの明かり作り、打ち込みができる①	各自与えられた演目の内容を深く理解する
12		演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
13		演習	卒業制作展の照明スタッフとして参加し、照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートやイベントに向けての準備、リハーサルを行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (2) (ムービング Advance (2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	橋本真也
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	ライブ、コンサート、お芝居、施設照明のプラン、ムービングライトのオペレートを行う。						
授業の学習 内容	現代のコンサートや舞台、その他様々なイベントに於ける照明演出で必須となったムービングライト。その特性と機能を学ぶことは、照明会社に就職する上でも非常に有利な条件となります。照明概論や照明BASICとも連動し、学校行事や企業プロジェクトイベント等でオペレートができるように、また将来的にエンターテインメント業界で活躍できる人材となれるよう指導していきます。						
到達目標	各種機能への理解を深め、ビジュアライザーを使い、多い台数への対応。 明かりのバランス、シーンの構成を考慮し、ムービングライトを使用するポイントを考える。						
評価方法と基準	試験60%(実技試験) 出席率40%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	前期復習。明かりのバランスを考える。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
2		演習	ビジュアライザーを使ってマトリックスなどの練習。	授業で学んだ内容を復習し、覚える。
3		演習	フィクスチャーデータ作成。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
4		演習	仕込みにに関して、	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
5		演習	DMXin, リモートコントロール。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
6		演習	アリーナ、パール、onPC	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
7		演習	セットアップに関して詳しく。	授業で学んだ内容を実際に機材に触れて復習する。
8		演習	小復習。	復習として今までに学んだ内容に聞き逃しがないかを確認し、質問事項にまとめてみる。
9		演習	プリセット復習。	授業で学んだ内容を機材に触れて復習する。
10		演習	個別にわからない所を学ぶ。	本日の授業を基に出された課題をレポートとして提出する。
11		演習	課題明かり作り。	ディスカッション
12		演習	課題明かり作り。	ディスカッション
13		演習	テスト、明かり作り。	ディスカッション
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (2) (Vecter Works Basic(2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	図面製作ソフトベクターワークスの基本的な使い方を学び、実践で扱える技術を身につける。						
到達目標	ベクターワークスを使い、図形作成・照明仕込み図作成の知識、スキルを習得する。						
評価方法と基準	知識を測るレポート提出 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期授業内容のふりかえり	前期授業内容の復習をしておく。
2		講義	袖幕配置、照明仕込み図のシンボル登録方法を学ぶ。	袖幕、シンボル登録の復習レポートを作成。
3		講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
4		講義	舞台セット図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
5		講義	舞台総合図と照明サス仕込み図が作成できるようになる。	セット図、サス仕込み図の復習レポートを作成。
6		講義	舞台図面の色つけと照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	色付け、仕込み図の復習レポートを作成。
7		講義	舞台図面のオリジナル図作成と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	オリジナル図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
8		講義	舞台のデザイン図と照明仕込み図の作成方法を学ぶ。	デザイン図の課題提出、仕込み図復習レポートを作成。
9		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
10		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展の内容を調べておく。
11		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
12		講義	卒業進級制作展演目別図面を作成する。	卒業進級制作展内容変更修正の把握。
13		講義	作成した図面を活かし、進級制作展の舞台、照明を仕込む。	進級制作展の図面作成と資料の整理
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			打合せや授業内容についての資料やレポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年の学園祭資料、明日への扉2022公演DVD、資料				

科目名	コンサートAdvance (2) (舞台監督演習Advance(2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	舞台監督 舞台制作に関する 1年時で学んだ事を基礎知識にして 選りスキルアップする為の 講義 及び 実技□						
到達目標	舞台監督 及び 舞台制作等の具体的内容を習得して 将来的な仕事での知識 及び即戦力に 繋げる						
評価方法と基準	1) 定期試験90% 2) 小テスト5% 3) レポート・論文5% 1) 定期テスト50% 2) 出席数50% 1) 定期テスト(筆記50% 実技50%)						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	舞台制作に関しての応用力を取得する	1年時2年前期の舞台制作授業の復習
2		講義・演習	譜面に関して理解する	譜面について調べる
3		講義・演習	禁止行為解除の申請に関して理解する	禁止行為解除の申請について調べる
4		講義・演習	禁止行為解除の申請資料作成を理解する	禁止行為解除の申請の種類を調べる
5		講義・演習	舞台での映像に関しての復習理解	舞台に於ける映像について調べる
6		講義・演習	舞台監督の現場での現状を理解する	現場での舞台監督の仕事の復習
7		講義・演習	中間試験及び復習講義	講義の内容の復習をする
8		講義・演習	舞台演出に関しての理解する	1年時2年前期の舞台演出授業の復習
9		講義・演習	様々な舞台演出について理解する	様々な舞台演出について調べる
10		講義・演習	Weaerの資料作成1	作成する資料の内容の把握
11		講義・演習	Weaerの資料作成2	作成する資料の内容の把握
12		講義・演習	後期授業内容の復習週	後期の授業内容を見直す
13		講義・演習	後期テスト(筆記)	レポート提出
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			基本的にレポート等にまとめてアウトプット。可能であればonPCを利用して復習。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (2) (照明デザイン (2))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	林 之弘
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	照明実務経験40年、日本照明家協会1級技能士						
授業の学習 内容	①職業意識の啓発を促し、ヒューマンスキル及びビジネスマナーを身につける ②照明概論 ③現場のルールとともに舞台照明に関する知識と技能を習得する。						
到達目標	日本照明家協会技能認定2級試験合格						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	技能認定試験対策授業1	レポート
2		講義・演習	技能認定試験対策授業2	レポート
3		講義・演習	技能認定試験対策授業3	レポート
4		講義・演習	技能認定試験対策授業4	レポート
5		講義・演習	技能認定試験対策授業5	レポート
6		講義・演習	技能認定試験対策授業6	レポート
7		講義・演習	技能認定試験対策授業7	レポート
8		講義・演習	技能認定試験対策授業8	レポート
9		講義・演習	技能認定試験対策授業9	レポート
10		講義・演習	技能認定試験対策授業10	レポート
11		講義・演習	後期まとめ授業	レポート
12		講義・演習	技能認定試験	レポート
13		講義・演習	ミュージカル公演の実務	レポート
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞2021				

科目名	コンサートAdvance (2) (音響技術基礎 (4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	小林寛太郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	音響従事实務歴20年以上						
授業の学習 内容	音声の基本的な知識を学ぶ マイクやミキサー、などの音声収録に欠かせない機材を理解する 収録時のミキシング、マイキングを実践を通して学ぶ						
到達目標	映像に欠かせない音の理解を深め、基本的な知識を身に付け、録音技術の向上を目的する						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	中継、収録システムについて①	次回に向けた復習
2		講義・演習	中継、収録システムについて②	中継、収録システムについての全2回のレポート作成
3		講義・演習	エフェクトについて①	次回に向けた復習
4		講義・演習	エフェクトについて②	エフェクトについての全2回レポート作成
5		講義・演習	サラウンドシステムについて①	次回に向けた復習
6		講義・演習	サラウンドシステムについて②	サラウンドシステムについての全2回のレポート作成
7		講義・演習	デジタルオーディオについて①	次回に向けた復習
8		講義・演習	デジタルオーディオについて②	デジタルオーディオについての全2回のレポート作成
9		講義・演習	ワイヤレスシステムについて①	次回に向けた復習
10		講義・演習	ワイヤレスシステムについて②	ワイヤレスシステムについての全2回のレポート作成
11		講義・演習	MAについて①	次回に向けた復習
12		講義・演習	MAについて②	MAについての全2回のレポート作成
13		講義・演習	テレビ音声について	次回に向けた復習
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートAdvance (2) (ライティングデザイン基礎 (4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木 昌 広
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	フリーランスの照明家としてコンサートやイベントで活動。実務歴25年以上						
授業の学習 内容	前期は、テレビ照明の基礎を学び、舞台照明との違いを明確に理解する。目指す方向性をを自分の中に捉えるように成長し、現場での理解力とスタッフのコミュニケーションの向上。						
到達目標	カメラ・モニター・照明機材を扱った演習・テレビ局の見学						
評価方法と基準	実技試験50% レポート提出を評価 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期の復習と後期の授業について	授業復習
2		講義・演習	前期の復習を元にテレビ照明の実習①	授業復習
3		講義・演習	前期の復習を元にテレビ照明の実習②	前期の復習を元にテレビ照明の実習についてレポート作成
4		講義・演習	スタジオ照明機構について①	授業復習
5		講義・演習	スタジオ照明機構について②	スタジオ照明機構についてのレポート作成
6		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①バラエティ	授業復習
7		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②バラエティ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
8		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①ロケ	授業復習
9		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②ロケ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
10		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①ドラマ	授業復習
11		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②ドラマ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
12		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について①ミュージックビデオ	授業復習
13		講義・演習	各シチュエーションに特化した照明について②ミュージックビデオ	各シチュエーションに特化した照明についての全2回のレポート作成
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容について復習レポートを作成。	
【使用教科書・教材・参考書】				
iPad版 ステージ舞台照明入門/舞台・テレビジョン照明＜基礎編＞				

科目名	イベント制作運営演習(1)	必修 選択	選択	年次	1,2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	江戸川文化センターで行われる骨髄移植推進キャンペーンミュージカル「明日への扉」の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、舞台を創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「明日への扉」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。 それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	「明日への扉」の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	骨髄移植を推進するプロモーションをレポート用紙にて提出する
2		演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3		演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4		演習	その他のセクション(PA・照明・舞台・衣装管理・メイク)の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく
5		演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6		演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要と運営方法を学ぶ 制作：稽古スケジュールを基に稽古期間の流れや段取りを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
7		演習	運営：チケット発売方法と管理方法を学ぶ 制作：台本の使い方を学ぶ・稽古会場の仕込みを学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
8		演習	運営：協賛の必要性を学び協力をお願いする 制作：制作スケジュールの作成・各セクション番盤表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
9		演習	運営：ホールRHIに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHIに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
10		演習	運営：運営方法を学びマニュアルを作成する 制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
11		演習	運営：運営マニュアル読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働し、レポートを提出
12		演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる(実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ)	実践的に各セクションに取り組む
13		演習	「明日への扉」運営・制作スタッフとして公演を成功させる(実践的に各セクションについての当日の流れを学ぶ)	実践的に各セクションに取り組む
14		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
15		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度「明日への扉」公演マニュアル・概要書・終了報告書・今年度「明日への扉」台本				
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷				

科目名	イベント制作運営演習(2)	必修 選択	選択	年次	1,2	担当教員	唐澤淳
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4単位		
教員の略歴	これまで数多くのアーティストマネージャーを務め、様々な現場でプロデューサー、舞台監督、デザイナーとして活躍するいくつもの顔を持っているマルチ業界人。						
授業の学習 内容	卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！の公演を教材にイベントスタッフとして必要な運営・制作の知識を実践的に学ぶ。 実践で行うことにより、コンサートを創る流れや細かな段取りを学びながら業界に必要な人材として成長していく。						
到達目標	運営・制作の流れが理解出来る。 公演の際にスタッフの一員として参加出来る。						
評価方法と基準	授業の中でのレポート提出 30% 「卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！」に関しての積極的な発言や態度。関わりや、本番日の行動力、スタッフの一員として成り立っているか。 それぞれに与えられた担当のなかで仕事を全うしているかを評価 70%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	卒業・進級制作展の内容について触れ、本公演を開催する意義を理解する	コンセプトの元公演演出の考案レポートを提出
2		演習	運営のセクションの流れと段取りを学ぶ	運営とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
3		演習	制作のセクションの流れと段取りを学ぶ	制作とはどのような役割かをレポートにまとめ提出
4		演習	その他のセクション(PA・照明・舞台・衣装管理・メイク)の流れと段取りを学ぶ	昨年のマニュアルを参考にに関わり時期を調べておく
5		演習	運営スタッフ・制作スタッフ共通して使用する機材や備品の使い方について学ぶ	昨年のマニュアルを参考に実際に使用していた時期を調べておく
6		演習	各希望セクションに分かれ、運営：公演概要とコンセプト内容を学ぶ 制作：公演の流れを理解し稽古スケジュールを組む	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
7		演習	運営：座席管理方法を学ぶ 制作：公演演出の流れを理解し機材の管理を行う	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
8		演習	運営：運営マニュアルの作成方法を学び作成する 制作：制作スケジュールの作成・各セクション番表を作成	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
9		演習	運営：ホールRHIに伴う会場下見、必要備品の準備・調達 制作：ホールRHIに伴う会場下見・使用会場の申請・楽屋振り分け	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
10		演習	運営：運営方法を学び作成する 制作：搬入・搬出方法を学ぶ・機材管理を学ぶ	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
11		演習	運営：運営マニュアルの読み合わせ 制作：各セクションへの伝達事項を学び実践する	授業外でも各スケジュールに合わせて稼働する
12		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
13		実習	イベント・実戦を通して、達成感やチームワークを学ぶ	レポート提出
14		実習	運営・制作共に終了報告書の作成方法を学び、作成する	授業に引き続き作成し提出
15		実習	各セクションごとに終了報告会を開催する	実践的に各セクションに取り組む
準備学習 時間外学習			各課題に向けて自主的に取り組む。次回の授業時に確認する。	
【使用教科書・教材・参考書】				
昨年度「卒業・進級制作展weareTSM！TSM渋谷！DA TOKYO！」公演マニュアル・概要書・終了報告書				

科目名	コンサートテクニック(1) (PA ワークショップ(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、 経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に 同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などの良 好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2		演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3		演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4		演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5		演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6		演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7		演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8		演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9		演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10		演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11		演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12		演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13		演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) (照明ワークショップ(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。 以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学びより現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50%筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを教わる	ノート
2		講義・演習	教室機材の器材を覚える	予習と復習
3		講義・演習	明かりを出しながら基本明かりの解説と理解する	予習と復習
4		講義・演習	光と影が表わす印象と表現を理解する	予習と復習
5		講義・演習	光の方向性や色から受けるイメージを感じる	予習と復習
6		講義・演習	テーマに沿った明かりを表現してみる	予習と復習
7		講義・演習	電気基礎の理解をする	予習と復習
8		講義・演習	調光信号とユニットの理解をする	予習と復習
9		講義・演習	仕込み図を作成する①	予習と復習
10		演習	仕込みバラシをしてみる①	前週の仕込み図を完成させる
11		講義・演習	仕込み図を作成する②	予習と復習
12		演習	仕込みバラシをしてみる②	前週の仕込み図を完成させる
13		講義・演習	前期を終えるにあたり質問復習をする	質問疑問をまとめてくる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め実習での動きにだせるように	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(1) (舞台制作ワークショップ(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につけることが出来る。 ●舞台全体を把握できる能力を身に付けることが出来る。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2		演習	基本用語(舞台用語)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3		演習	基本用語(舞台セット)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4		演習	基本用語(舞台進行)を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5		演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6		演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7		演習	基本用語(各セクション)を学ぶ。	実習準備
8		演習	舞台備品(箱馬・平台)について理解する。	実習準備
9		演習	舞台備品(幕)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10		演習	舞台備品(ステージ設営)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11		演習	舞台備品(大道具部材)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12		演習	舞台備品(繋ぐ・切る・結ぶ)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
13		演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(1) (舞台制作プランニング(1))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	●イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し演目内容を進行していく能力を身につける ●資料作成などを元に、学内イベントを経験して実習を行っていく						
到達目標	●知識を元に作業を繰り返すことで、自分自身の舞台制作の知識、スキルを習得し、判断能力を上げる。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2		講義	舞台知識①: 舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3		講義	舞台知識②: 公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4		講義	舞台知識③: 図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5		講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6		講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7		講義	舞台知識④: 各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8		講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9		講義	知識応用①: 墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10		講義	知識応用②: タツパ決めについて学ぶ。	タツパ決めについて復習レポートを作成。
11		講義	知識応用③: リハーサル進行について学ぶ。	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12		講義	知識応用④: 公演進行の方法について学ぶ	公演進行の方法について復習レポートを作成。
13		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	コンサートテクニック(1) (PA ワークショップ(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 打合せ、プランニング、仕込み、リハーサル、サウンドチェック、本番、バラシの一連の流れを実際のイベントを通して学び、 経験とする。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に 同セクション内の人間関係をも構築する。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などの良 好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	顔合わせ自己紹介、機材の持ち方と安全管理について学ぶ。	機材の持ち方と安全管理について復習レポートを作成。
2		演習	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方を学ぶ。	マイクとスタンドの種類、ケーブルの巻き方について復習レポートを作成。
3		演習	PA仕込みの練習を行なう。	PA仕込みについて復習レポートを作成。
4		演習	仕込み練習・学園祭セクション決めを行なう。	学園祭セクションで打合せを行なう。
5		演習	仕込み練習・学園祭プランを立てる。	学園祭プランを立てるための打合せや稽古立会い等を行なう。
6		演習	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。	学園祭反省会・明日への扉映像を見た上でセクションを決める。
7		演習	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。	仕込み練習/LIVE8を学ぶ。
8		演習	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。	仕込み練習/Work Benchを学ぶ。
9		演習	仕込み練習/DVSを学ぶ。	仕込み練習/DVSを学ぶ。
10		演習	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。	外部ホール実習①外部ホールでの搬入搬出、仕込み、舞台機構、使用マナー等を学ぶ。
11		演習	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。	ホール実習②外部ホールで音環境を理解する。
12		演習	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。	ホール実習③外部ホールでのライブシミュレーションを行なう。
13		演習	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(1) (照明ワークショップ(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐々木治郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学びより現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持たせる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50%筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義・演習	火曜の授業の確認や学校イベントなどの把握と協調関係の大事さなどを教わる	ノート
2		講義・演習	教室機材の器材を覚える	予習と復習
3		講義・演習	明かりを出しながら基本明かりの解説と理解する	予習と復習
4		講義・演習	光と影が表わす印象と表現を理解する	予習と復習
5		講義・演習	光の方向性や色から受けるイメージを感じる	予習と復習
6		講義・演習	テーマに沿った明かりを表現してみる	予習と復習
7		講義・演習	電気基礎の理解をする	予習と復習
8		講義・演習	調光信号とユニットの理解をする	予習と復習
9		講義・演習	仕込み図を作成する①	予習と復習
10		演習	仕込みバラシをしてみる①	前週の仕込み図を完成させる
11		講義・演習	仕込み図を作成する②	予習と復習
12		演習	仕込みバラシをしてみる②	前週の仕込み図を完成させる
13		講義・演習	前期を終えるにあたり質問復習をする	質問疑問をまとめてくる
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め実習での動きにだせるように	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(1) (舞台制作ワークショップ(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	テキストを中心に舞台の基礎を学び、アイドルイベントやお笑いイベント、学園祭、明日への扉公演の舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。						
到達目標	●知識と基に、作業工程や操作法を身につけることができる。 ●舞台全体を把握できる能力を身に付けることができる。 ●座学と実習を繰り返して、舞台監督としての成長を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	前期講義と舞台制作についての概要説明のオリエンテーションを行う。	自己紹介内容の準備をする。
2		演習	基本用語(舞台用語)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
3		演習	基本用語(舞台セット)を学ぶ。	スタッフ赤本の復習レポート作成と予習
4		演習	基本用語(舞台進行)を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
5		演習	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	イベント打合せ、資料の作成
6		演習	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料の整理をする。
7		演習	基本用語(各セクション)を学ぶ。	実習準備
8		演習	舞台備品(箱馬・平台)について理解する。	実習準備
9		演習	舞台備品(幕)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
10		演習	舞台備品(ステージ設営)について理解する。	イベント打合せ、資料の作成
11		演習	舞台備品(大道具部材)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
12		演習	舞台備品(繋ぐ・切る・結ぶ)について理解する。	授業内容を復習しレポートを作成。
13		演習	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(1) (舞台制作プランニング(3))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	●イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し演目内容を進行していく能力を身につける ●資料作成などを元に、学内イベントを経験して実習を行っていく						
到達目標	●知識を元に作業を繰り返すことで、自分自身の舞台制作の知識、スキルを習得し、判断能力を上げる。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期講義と舞台制作についての概要説明を行う。	自己紹介内容を事前に準備する。
2		講義	舞台知識①: 舞台監督の作業について理解する。	スタッフ赤本を読んで舞台監督業務に関する復習レポートを作成。
3		講義	舞台知識②: 公演内容資料を理解する。	スタッフ赤本を読んで公演内容資料に関する復習レポートを作成。
4		講義	舞台知識③: 図面が理解できるようになる。	スタッフ赤本を読んで舞台図面に関する復習レポートを作成。
5		講義	学園祭準備を通して制作を学ぶ。	学園祭の打合せに参加し、資料を作成する。
6		講義	学園祭反省会と引き継ぎ作業を行う。	学園祭時に使用した資料をまとめる。
7		講義	舞台知識④: 各スタッフとの共有作業ができるようになる。	舞台スタッフとの共有作業について復習レポートを作成。
8		講義	高所・仮設作業について理解する。	高所・仮設作業について復習レポートを作成。
9		講義	知識応用①: 墨出しを学ぶ。	墨出しについて復習レポートを作成。
10		講義	知識応用②: タツパ決めについて学ぶ。	タツパ決めについて復習レポートを作成。
11		講義	知識応用③: リハーサル進行について学ぶ。	リハーサル進行について復習レポートを作成。
12		講義	知識応用④: 公演進行の方法について学ぶ	公演進行の方法について復習レポートを作成。
13		講義	明日への扉の舞台演出部として参加。ミュージカル舞台の仕込み、進行、転換等を実践的に学ぶ。	打合せ、稽古立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、学園祭や明日への扉の打合せ、資料作成を行う。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	コンサートテクニック(2) (PA ワークショップ(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2		演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3		演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4		演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5		演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6		演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7		演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8		演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9		演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10		演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11		演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(1)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12		演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(2)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13		演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) (照明ワークショップ(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐々木治郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持つことができる。メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
2		演習	照明におけるメンテナンス技術を身につける	工具を持ってくる準備
3		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
4		演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解する	資料
5		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
6		演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
7		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力等を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
8		演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
9		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力等を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表
10		演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
11		演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	各種資料
12		演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらい
13		演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め実習での動きにだせるように	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(2) (舞台制作ワークショップ(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		演習	地絣り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(2) (舞台制作プランニング(2))	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	●イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し演目内容を進行していく能力を身につける ●資料作成などを元に、学内イベントを経験して実習を行っていく						
到達目標	●知識を元に作業を繰り返すことで、自分自身の舞台制作の知識、スキルを習得し、判断能力を上げる。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		講義	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		講義	地張り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		講義	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		講義	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		講義	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		講義	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		講義	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		講義	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		講義	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		講義	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		講義	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				

科目名	コンサートテクニック(2) (PA ワークショップ(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	新部有亮
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 8単位		
教員の略歴	ROCK IN JAPAN FESTIVALやCOUNT DOWN JAPANなどのツアースタッフなどに参加。 中国、香港、台湾などのアジアの活動業務のプロジェクトマネージャーも担当し、世界で活躍するPAエンジニア。実務歴15年以上						
授業の学習 内容	学内イベントや学外イベント、ホール実習などを行なっていく中で基礎的な音響知識の実践を行なっていく。 進級制作展、卒業制作展を成功に導くためのプランニングやオペレーションを学ぶ。						
到達目標	PAスタッフとしての基礎的な現場力を身につけ、上級生が下級生に教える中から、自分自身の理解力をより深めると共に同セクション内の人間関係をも構築することが出来る。学内イベントやホール実習を通し、他セクション、ホールスタッフ、演者などとの良好な関係づくりを構築する中から、人としての成長を促し、業界で即戦力として活躍できる人材の育成を目指す。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	仕込練習/LS9の操作方法を修得する。	LS9の操作方法について復習レポートを作成。
2		演習	仕込練習/X32の操作方法を修得する。	X32の操作方法について復習レポートを作成。
3		演習	仕込練習/QL5の操作方法を修得する。	QL5の操作方法について復習レポートを作成。
4		演習	仕込練習/CL5の操作方法を修得する。	CL5の操作方法について復習レポートを作成。
5		演習	仕込練習/SD8の操作方法を修得する。	SD8の操作方法について復習レポートを作成。
6		演習	外部ホール実習④外部ホールでのアコギ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのアコギ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
7		演習	外部ホール実習④外部ホールでのピアノ弾き語りライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのピアノ弾き語りライブについて復習レポートを作成。
8		演習	ホール実習③外部ホールでのバンドライブシミュレーションを行なう。	外部ホールでのバンドライブについて復習レポートを作成。
9		演習	We are TSM渋谷のセクション決めを行ない、打合せをする。	セクションごとの打合せ内容をまとめ資料を作成する。
10		演習	We are TSM渋谷打合せ、プランニングをする。	We are TSM渋谷プランの整理をする。
11		演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(1)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
12		演習	We are TSM渋谷リハーサルを行なう。(2)	We are TSM渋谷リハーサルについて修正変更点をまとめる。
13		演習	We are TSM渋谷に参加し、プランニング、リハーサル立会い、資料作成を行なう。	明日への扉スタッフとして参加し、仕込み、リハーサルを行なう。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習をレポートとして作成する。イベント等の打合せ、リハーサル立会い、プランニングや資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	コンサートテクニック(2) (照明ワークショップ(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	佐々木治 郎
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	93年大手照明会社入社。ツアーコンサート、芝居、イベント照明経験を経て2004年退社。 以後、専門学校講師と多方面の現場をフリーで活動中。						
授業の学習 内容	舞台照明の仕事をするにあたり基礎を踏まえた内容の授業をメインとし現場で求められる人間性、技術力、行動力などの人材育成を目的とした実習としベーシック、アドバンスを活かした現場総合力を身につけるための授業。実習を繰り返すことで現場で求められる基礎知識と動きなどを覚え即戦力になる人材を育成する。						
到達目標	照明基礎のベーシック、アドバンスを活かしたより実践的な技術の習得と学年を超えた照明スタッフとしてのコミュニケーション力を学び、より現場らしい業務内容の体験の中で社会人になる意識を持つことができる。 メンテナンスを通じて器材の仕組みや工具の使い方を学ぶ。仕込みバラシと明かり作り作業の反復練習で照明効果の理解を深める。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
2		演習	照明におけるメンテナンス技術を身につける	工具を持ってくる準備
3		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
4		演習	内容考察や符割りプランニングなどの理解する	資料
5		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
6		演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
7		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力を身につける	仕込み図を完成させ当日発表
8		演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
9		演習	仕込みバラシをしてみても応用力コミュニケーション力を身につけること	仕込み図を完成させ当日発表
10		演習	課題曲や個人選曲で発表する	選曲
11		演習	卒業公演に向けての机上準備を学ぶ	各種資料
12		演習	後期まとめとして質問や復習	教科書ノートなどのおさらい
13		演習	進級卒業制作展の照明スタッフとして参加し、実際の現場で必要となる照明の仕込み、扱い方、プラン、イメージを理解する。	現場において気付いた事柄をまとめてレポート提出する。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			常に帰ってからの復習と理解を深め実習での動きにだせるように	
【使用教科書・教材・参考書】				
ステージ舞台入門				

科目名	コンサートテクニック(2) (舞台制作ワークショップ(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	北英樹
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	90 6単位		
教員の略歴	コンサートや演劇、イベント等の舞台監督として活動。実務歴35年以上						
授業の学習 内容	アイドルイベントやお笑いイベント等を通して舞台監督、舞台制作スタッフに必要な知識と技術を実践的に学ぶ。 また、実習にて舞台機構を操作し習得する。 卒業進級制作展に向けての打合せや作業を行なう。						
到達目標	舞台公演に必要な知識・使用操作方技術を身につけ、公演の進行を自分自身で行えるようになる。						
評価方法と基準	実技試験50% 筆記試験50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		演習	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		演習	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		演習	地張り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		演習	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		演習	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		演習	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		演習	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う①。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う②。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		演習	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う③。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		演習	進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う④。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		演習	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う⑤。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本・コース教材(メジャー・手袋・カッター)				

科目名	コンサートテクニック(2) (舞台制作プランニング(4))	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	川原宏幸
学科・専攻	音楽テクノロジー科2年制 昼間部一	授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 2単位		
教員の略歴	国内外アーティスト・アイドル・声優等のコンサートやイベントの舞台監督歴25年。						
授業の学習 内容	●イベントやコンサートにおける舞台監督の業務を把握し演目内容を進行していく能力を身につける ●資料作成などを元に、学内イベントを経験して実習を行っていく						
到達目標	●知識を元に作業を繰り返すことで、自分自身の舞台制作の知識、スキルを習得し、判断能力を上げる。						
評価方法と基準	筆記試験 50% 実技試験 50%						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1		講義	前期授業の振り返りと後期講義のオリエンテーションを行う。	PC操作・スタッフ赤本の復習
2		講義	卒業進級制作展開催役割分担を行い、組織体制作りを学ぶ。	授業内容の整理。
3		講義	地絨り・カーペットを敷くスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
4		講義	幕を吊る・道具を飾るスキルを学ぶ。	授業内容の復習レポートを作成。
5		講義	コンサートホールを理解し、舞台セットを考察する。	授業内容の復習、資料のまとめをレポートとして作成。
6		講義	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
7		講義	学内イベントの舞台進行を実践的に学ぶ。	実習準備をする。
8		講義	卒業進級制作展の制作スケジュールを管理し、演出内容について考察する。	打合せ、資料作成。
9		講義	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	打合せ、資料作成し、仕込み作業を行う。
10		講義	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
11		講義	卒業進級制作展リハーサルの資料作成と舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
12		講義	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う。	資料作成、会場仕込み、撤去作業。
13		講義	卒業進級制作展の資料作成とリハーサル、本番の舞台進行を行う。	打合せ、リハーサル立会い、資料の作成。
14		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
15		講義・演習	イベント・実践を通して学ぶ	レポート提出
準備学習 時間外学習			授業内容の復習レポートを作成し、イベントの打合せ、タイムテーブルや進行表等の資料作成を行なう。	
【使用教科書・教材・参考書】				
スタッフ赤本				